



KYOTO UNIVERSITY

OVERVIEW

京都大学概要 2023



教育・研究の力強い歩みを未来に繋ぐ

京都大学は、1897年6月に、京都帝国大学として設立されました。

明治のこの時期、我が国に官立の大学は東京に一校しかなく、単に「帝国大学」と呼ばれ、日本が近代国家として必要な官僚や技術者などの人材育成を目的とするものでした。

しかし急速に西欧の学術や文化の導入が進むに伴い、

我が国でも独自に学術研究や高等教育を発展させるべきであるという機運が高まり、

1897年の勅令によって、二校目の帝国大学として京都帝国大学が設立されました。

この背景には、「政治の中心から離れた京都の地に、自由で新鮮なそして本当に真理を探求し学問を研究する学府としての大学を作る」という構想があったと言われています。

近年、私たちを取り巻く世界はますます複雑さを増しており、

これに対応する学術や科学もこれまで以上に新しい研究領域の開拓と飛躍を必要としています。

京都大学は、これまでの教育・研究の力強い歩みを確実に未来に繋ぎ、

一層社会に貢献する大学を目指してまいります。

表紙:百周年時計台記念館の時計塔

大学のシンボル、「時計台」と呼ばれ親しまれるこの建物は、武田五一の設計により1925年に誕生しました。1997年の創立百周年を記念して最新の免震構法を取り入れて改修され、2003年に百周年時計台記念館として生まれ変わり、高くそびえる時計塔は百年近くの間、京都大学の歴史を見守ってきました。

広報誌「紅崩(くれなゐもゆる)」第41号(2022年春号)では、普段入ることのできない時計塔の内部についても詳細を紹介しています。

www.kyoto-u.ac.jp/kurenai/202203/shisetsu/index.html

Contents

3	基本理念
4	ご挨拶
5	京都大学の歩み
7	数字で見る京都大学
9	京都大学が目指すもの
9	任期中の基本方針 —世界に輝く研究大学を目指して—
11	指定国立大学法人としての取組
12	ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン —ジェンダー平等促進と多様性、公平性の尊重—
13	京都大学の今
13	大学の動きを知る —KyotoU News—
17	最新の研究成果を知る —Latest research news—
18	教職員・学生を知る —ザッツ・京大—
19	最先端と伝統の施設を知る
21	栄誉
23	組織
23	組織図
24	機構図／役員
25	学部
27	大学院
30	附置研究所
31	教育研究施設等
33	研究所・附属研究施設等位置図
35	国際連携
39	産官学連携 —未来創造と社会課題の解決に貢献—
40	社会連携 —京都大学のアウトリーチ—
41	大型採択事業等
42	財務状況
43	キャンパス
43	アクセス
45	キャンパスマップ
51	附属病院・総合博物館・図書館
53	アカデミックカレンダー
54	刊行物・Webサイト

基本理念

学生の自主性を尊重した教育方針を採用したことで知られる初代総長木下廣次は、本学創立後最初の入学宣誓式において、「大学学生に在りては自重自敬を旨とし以て自立独立を期せざるべからず」と述べ、大学人の持つべき自主性の意義を説きました。この自主性を重んじる精神は、京都大学が大切にする「自由の学風」として今日まで承継されています。



— 京都大学の基本理念 —

京都大学は、創立以来築いてきた自由の学風を継承し、発展させつつ、多角的な課題の解決に挑戦し、地球社会の調和ある共存に貢献するため、自由と調和を基礎に、ここに基本理念を定める。

〔研究〕

1. 京都大学は、研究の自由と自主を基礎に、高い倫理性を備えた研究活動により、世界的に卓越した知の創造を行う。
2. 京都大学は、総合大学として、基礎研究と応用研究、文科系と理科系の研究の多様な発展と統合をはかる。

〔教育〕

3. 京都大学は、多様かつ調和のとれた教育体系のもと、対話を根幹として自学自習を促し、卓越した知の継承と創造的精神の涵養につとめる。
4. 京都大学は、教養が豊かで人間性が高く責任を重んじ、地球社会の調和ある共存に寄与する、優れた研究者と高度の専門能力をもつ人材を育成する。

〔社会との関係〕

5. 京都大学は、開かれた大学として、日本および地域の社会との連携を強めるとともに、自由と調和に基づく知を社会に伝える。
6. 京都大学は、世界に開かれた大学として、国際交流を深め、地球社会の調和ある共存に貢献する。

〔運営〕

7. 京都大学は、学問の自由な発展に資するため、教育研究組織の自治を尊重するとともに、全学的な調和をめざす。
8. 京都大学は、環境に配慮し、人権を尊重した運営を行うとともに、社会的な説明責任に応える。

— 京都大学の教職員像 —

京都大学の教職員は、京都大学の基本理念の下に、その将来像の実現にむけて、教育、研究、支援業務、大学・部局の運営のそれぞれにおいて自らの使命を自覚し、その職責の遂行に全力を尽くす。

教職員は、最善の努力を傾けて、教育・研究の双方において能う限りの高い水準を目指す。学問の自由は、これを遂行するための最も基本的な要件であり、社会規範や倫理に十分な配慮を払いつつ、教育・研究のすべての場において尊重される。

教育は、学術・文化の継承と個々の学生の能力開発・人格育成の営みであり、その実施において教職員は、性、民族、宗教などによる差別をしてはならない。研究は、学術・文化の発展と人類共有の知的資産の蓄積に資すべき営みであり、その推進において教職員は、高い倫理性と清廉性を保持しなければならない。

教育・研究を支援し、大学・部局を運営していく業務は、その持続的発展のために極めて重要である。教職員は、大学が社会的存在であることを認識し、高次の専門的能力と総合的視野をもってその職責を全うできるよう常に自己研鑽に努め、教育・研究基盤の充実、大学・部局の円滑な運営と発展に寄与する。

ご挨拶

京都大学の原点に立ち返り、
研究大学としてのあり方を問い直す



京都大学は1897(明治30)年、社会における科学・技術の役割の急速な拡大を背景として、創造的な研究を通して人材を育成するというフンボルト理念の下に、我が国で2校目の帝国大学として創立されました。爾来、京都大学は、自由で創造的研究を尊び、新たな知的価値の創出によって「地球社会の調和ある共存に貢献すること」を基本理念として、アジア諸国の中で最多のノーベル賞やフィールズ賞の受賞者を輩出するなど、我が国を代表する研究型大学として歩んできました。

本学の教育の伝統は、自らに課題を課し自学自習によりその解決に向け努力することを促し、学生の創造的精神の涵養をはかることにあります。その前提となるのは、確実な科学的知識と幅広い豊かな人間的素養であり、国際高等教育院では、入学した全ての学生に全学共通教育を課し、健全な知的市民としての成長を求めています。

2021年6月に、基本方針「世界に輝く研究大学を目指して」を策定し、(1) 教育と学生支援、(2) 教員の研究活動支援、(3) 業務運営体制の改善、(4) 施設、(5) 組織運営、(6) 基金活動、の各課題への取組について本学の方向性を示しました。これは、2017年の指定国立大学法人の指定にあたりまとめた将来構想の具体化に向けたものです。世界に伍する研究大学を目指し、新時代の教育・研究・運営のための機能的インフラ整備も着実に実行していく予定です。

この「京都大学概要」は、本学の理念・方針・運営体制等の基本的な情報から、優れた人材を育成するための教育、真理を探究するための研究、多様で多岐にわたる社会貢献、並びに国際化や機能強化のための大学改革など、本学が力を入れて推進している現状をわかりやすく紹介しています。また、京都大学Webサイトでは、大学の最新情報をお届けしています。

本冊子が皆様に京都大学をご理解いただく一助となれば幸いです。

2023(令和5)年7月
京都大学総長

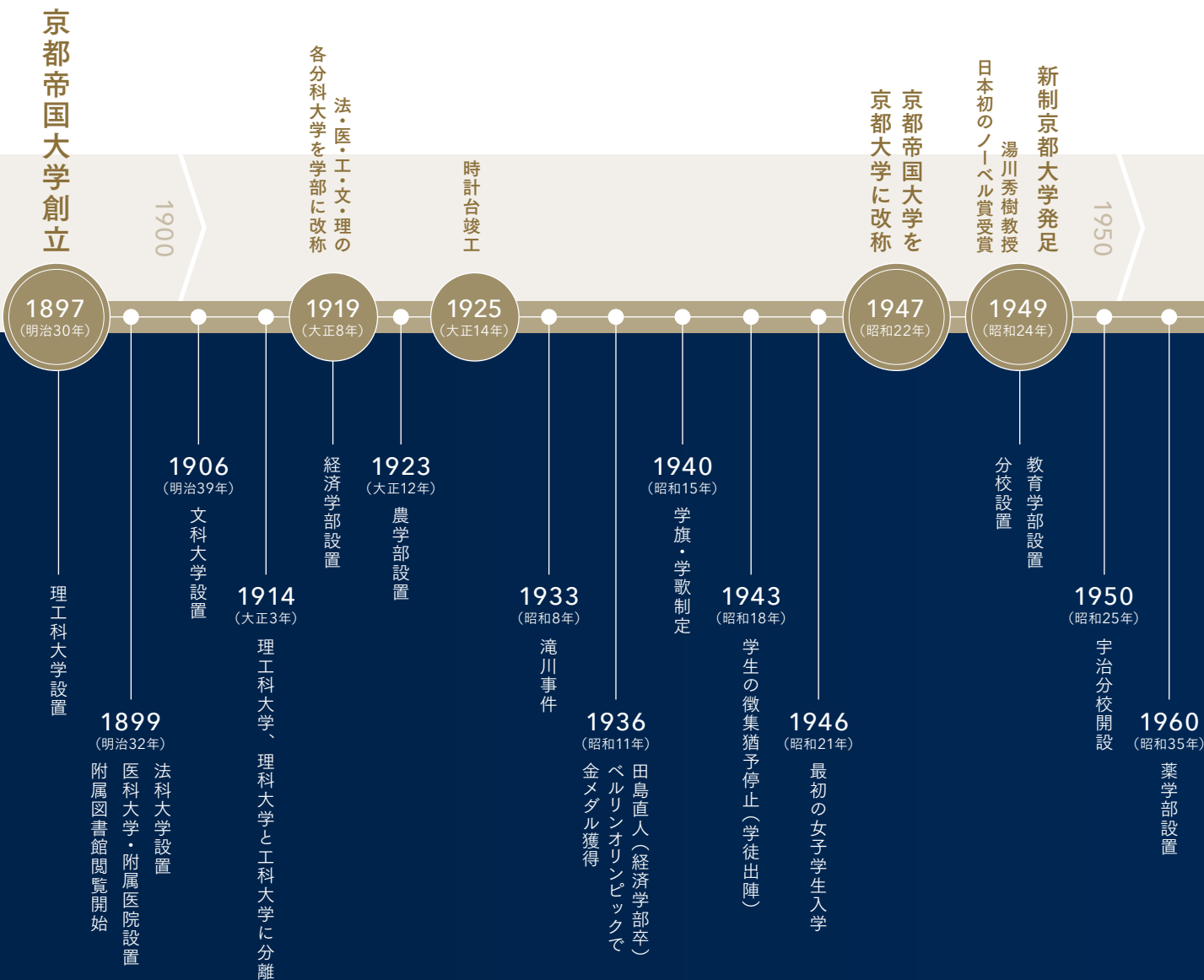
漆 長博

京都大学の歩み

明治30年6月18日、勅令第209号が制定され、京都帝国大学が創立されました。最初は理工科大学が置かれ、続いて数年のうちに法科大学、医科大学、そして文科大学が置かれました。大正8年、「大学令」が施行され、京都帝国大学でも、法・医・工・文・理の各分科大学が学部に変更されました。昭和22年、「帝国大学令」が改正され、「帝国大学」は「国立総合大学」と改められることになり、京都帝国大学も京都大学に改称されました。戦後、教育改革によって新たな教育制度が導入され、昭和24年、京都大学も、第三高等学校と附属医学専門部を包括して新制大学としてのスタートを切りました。一般教育も開始され、京都大学は宇治と吉田に分校を設置してこれに当たることになりました。

平成15年、「国立大学法人法」が施行され、平成16年に国立大学法人京都大学が発足しました。国の組織から制度上独立し学長の権限を強化することで、弾力的な大学運営及び教育研究の活性化につながるとされ、学外者を含めた学内管理体制が整備されました。

長い歴史の中で京都大学は、常に社会と共にあり、教育研究の改革・発展に挑み、京都の地で豊かな人材を輩出し続けています。



正門と本館(1900年頃)



時計台前の学生たち(1928年頃)



大学院入学宣誓式の様子(1928)

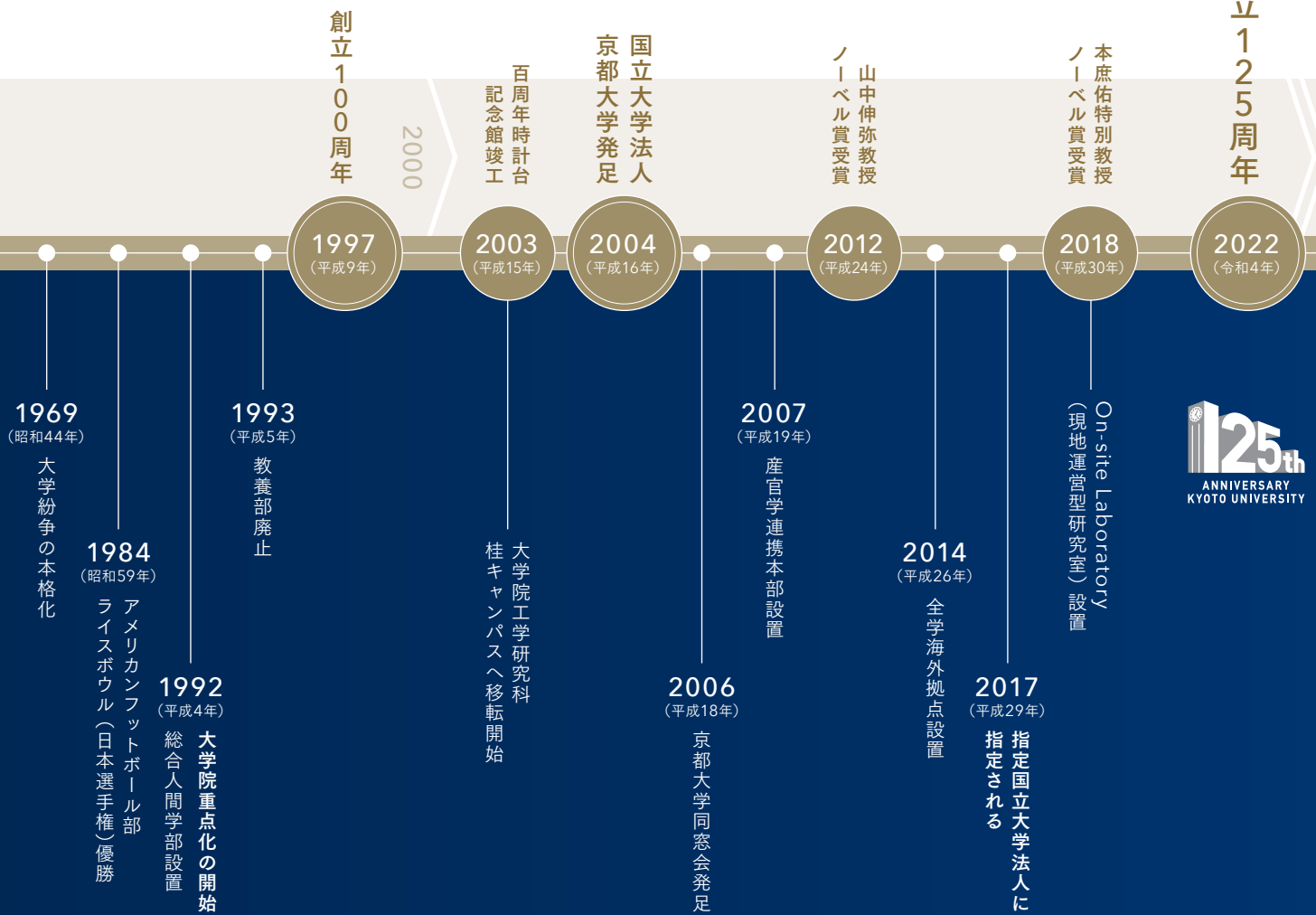


学旗学歌制定式



現在の吉田キャンパス(百周年時計台記念館)

創立125周年



分校正門(現在の吉田南構内)



湯川秀樹教授(1949)



© Nobel Media AB 2012. Photo: Alex Ljungdahl
山中伸弥教授 ノーベル賞授与式



© Nobel Media. Photo: Alexander Mahmoud
本庶佑特別教授 ノーベル賞授与式

数字で見る京都大学



1897年

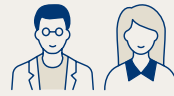
1897(明治30)年6月18日 創立
(日本で2校目の帝国大学として京都帝国大学創設)
2022(令和4)年には、創立125周年を迎えました



22,600名

学部生 **13,000**名 (2,900)
大学院生 **9,600**名 (2,900)
〔留学生 **3,000**名〕

()は女子学生

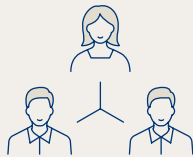


教職員数
Faculty and staff members

7,650名

教員 **3,500**名 (600) 研究員 **450**名 (130)
職員 **3,700**名 (2,400)
〔外国人教職員 **500**名〕

()は女性



組織
Organization



学部
Faculties



大学院
Graduate schools



附置研究所
Research institutes

10

18

12



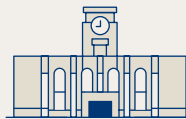
その他の
研究・教育組織
Centers & other organizations

20



その他の
学内組織
Other campus organization

7



キャンパス数
Campuses

京都に3箇所
(吉田・宇治・桂)

3



**国内の研究所
附置研究施設等**

Off-campus research and
education facilities in Japan



44



荣誉

Award winning research

ノーベル賞

11名

フィールズ賞

2名

ラスカー賞

5名

ガウス賞

1名

チャーン賞

1名



財務状況

Finance condition

総事業費(受入額)

1,867億円



保有特許

Patents

2,997件

国内 1,352件

国外 1,645件



同窓会

Alumni associations

国内

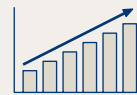
53

海外

31

学部・研究科

50



京大発 ベンチャー創出数

Startup

267社



国際連携

Global engagement

全学海外拠点

3

海外拠点等(部局設置)

63

On-site Laboratory

11

大学間学術交流協定

200

(55カ国・地域)
うち、戦略的パートナーシップ校 5

大学間学生交流協定

153

(39カ国・地域)

世界に輝く研究大学を目指して

湊総長が任期中に新たに注力する取組を中心とした「任期中の基本方針—世界に輝く研究大学を目指して—」を策定し、2021年に公表しました。世界に伍する研究大学を目指し、以下の3つのビジョンのもと、教育と学生支援、教員の研究活動支援、業務運営体制の改善、施設、組織運営、基金活動の6つの課題について、それぞれ方向性を示しています。

3つのビジョン



基本的な考え方

本学の基本理念、そして自由の学風のもとで独創的な研究を推進するため、多様で有為の人材が世界中から本学へ集うことのできる魅力ある教育・研究環境の整備と、自律的な運営を可能とする基盤の強化に注力します。

魅力ある教育・研究環境を実現するための方策として、**学生の修学環境や教育内容・体制の改善**とともに、**教員の教育・研究活動を支援する体制の整備や処遇の改善**に取り組みます。特に、**学生・教員の多様性の確保**は重要であり、**優秀な海外留学生の増加や若手・女性教員の増員・育成**に充分配慮します。また、自律的な運営を行う基盤の強化のため、**社会への発信力の強化、産学連携活動や基金活動の一層の推進**に積極的に取り組みます。

6つの取組

I. 教育と学生支援

II. 教員の研究活動支援

III. 業務運営体制の改善

IV. 施設

V. 組織運営

VI. 基金活動、その他

世界に輝く

《6つの取組の項目》

I. 教育と学生支援

学部・大学院において、熱意に溢れ適性に優れた多様な入学者の確保とその育成のため、学生の生活支援と福利厚生の上昇、学生の希望と時代のニーズに対応した教育内容・体制の改善を進める。

- | | | |
|-----------------|-----------------|--------------|
| (1)学部教育 | (2)大学院・専門職大学院教育 | (3)学生生活 |
| ・入学者選抜等 | ・給付型奨学金制度の拡充と整理 | ・学生相談窓口の強化 |
| ・学部入学定員と転学部・転学科 | ・大学院定員と専攻組織の改革 | ・学生サービス環境の改善 |
| ・学部カリキュラム改革 | ・優秀な留学生の獲得 | |
| ・短期海外留学 | ・大学院教育支援機構の設置 | |

II. 教員の研究活動支援

国内外の若手・女性を含む多様で卓越した研究者人材の獲得、及びそのために、教員が十分に教育・研究活動に専念できる環境の整備が最重要課題であるとする。

- | | | |
|---------------|--------------|-------------------|
| (1)研究支援体制の再構築 | (3)教員の多様性の確保 | (5)研究活動の国際化と成果の発信 |
| (2)教員の処遇改善 | (4)教育研究組織の改革 | (6)産学共同・連携活動の推進 |

III. 業務運営体制の改善

コンプライアンスに最大限の配慮をしつつ効率的で機能的な業務運営を行うために、事務組織や雇用体系の抜本的改善と事務職員の政策立案能力向上に向けての取組を進め、全体として非効率の経費の削減に努める。

- | | | |
|---------------|-----------------|-----------------|
| (1)本部と部局の事務改革 | (3)財務改革 | (5)医学部附属病院の管理運営 |
| (2)全学機能組織の見直し | (4)職員の人事給与制度の改善 | |

IV. 施設

大学の施設整備計画について、その資金計画を含めて検討を進め確定していく。

- | | |
|-----------------|----------------|
| (1)キャンパスマスタープラン | (2)創立125周年記念事業 |
|-----------------|----------------|

V. 組織運営

各レベルでの組織運営の責任の所在の明確化と、大学運営を担う次世代の人材育成の仕組み作りを進める。

- | | |
|-----------|-----------|
| (1)部局長の職務 | (2)総長・役員会 |
|-----------|-----------|

VI. 基金活動、その他

大学の財務基盤強化に向けて、基金活動、同窓会活動のための事務体制を充実強化する。特に今後は、法人に加え、個人を対象とする基金活動に重点を置き、海外を含む地域同窓会、保護者会やファンクラブの組織化と広報活動を強く推進する。

指定国立大学法人としての取組

指定国立大学法人は、現在の人的・物的リソースの分析と、今後想定される経済的・社会的環境の変化を踏まえ、大学の将来構想とその構想を実現するための道筋および期間を明確化することが求められます。また、社会や経済の発展に与えた影響と取組の具体的成果を積極的に発信し、国立大学改革の推進役としての役割を果たすことが期待されます。京都大学は2017年に、文部科学大臣より指定国立大学法人の指定を受けました。

京都大学 指定国立大学法人構想概要

京都大学基本理念 創立以来築いてきた自由の学風を継承し、発展させつつ、多角的な課題の解決に挑戦し、地球社会の調和ある共存に貢献する

新たな知の創造・イノベーションの確立・未来社会への指針を示すための取組を実行

柔軟かつダイナミックな体制による知の創造

複数の領域で世界の最先端研究をリード / 融合領域の新規開拓、強い分野の国際展開

1 世界を先導する最先端研究の推進

- 1) 再生医療と先端医学研究
人々の健康と超高齢社会における医学医療の未来創成に貢献
- 2) 化学と生命科学の融合
広範な領域で新しい学術分野の開拓
- 3) 高等研究院
卓越した研究者の英知が結集する国際研究ハブ

2 On-site Laboratory

海外の大学や研究機関等との協働による現地運営型研究室

高度で多様な頭脳循環の形成

教育の一層の国際化 / 多様な人材の育成・輩出、優秀な人材獲得

1 Kyoto iUP

国内外の学生に開かれた国際学部教育プログラム

2 卓越大学院プログラムによる博士人材 ([知のプロフェッショナル])の育成

3 大学院教育支援機構の設置

- 1) GST機能の強化
大学院生の教育研究能力向上のための全学研修体制の構築
- 2) 留学生リクルーティング
優秀な留学生の戦略的獲得の推進

4 大学院生・留学生への各種施策の展開

1 白眉プロジェクト

学術領域を問わず世界中から優秀な若手研究者を獲得

2 若手教員数の増加

第4期中期目標期間内に若手教員比率を30%に引き上げ

新たな社会貢献を目指して

産官学連携活動を推進する体制の構築 / これまでの学術的成果を背景とした現代世界の諸課題解決への貢献

1 産官学連携の新しい「京大モデル」の構築

大学出資による機能別事業子会社の設立・運営

- 1) 総研機能(コンサルティング・シンクタンク事業等)
- 2) 技術移転機能
- 3) ベンチャー支援機能
ホールディング・カンパニー(持ち株会社)の設立を志向

2 既存の枠組みにとらわれない産官学連携の促進

「組織」対「組織」による共同研究スキームをより一層推進

1 日ASEANの協力関係のより一層の推進

包括的な学術・科学技術協力の推進により、「持続可能な開発」に貢献

2 人文・社会科学の未来形の発信

国際化の推進、文理融合による新学術領域の創成

世界に伍する京大流大学運営

大学運営におけるトップダウンの方針とボトムアップの意思の調整に基づく全学的な戦略立案の必要性

大学独自の戦略的活動を支える安定的な自己財源の必要性

1 京大版プロボストと戦略調整会議(カウンスル)

執行部と部局・学系間との密接な連携調整のもと企画・戦略立案

2 国際的視野によるエビデンスベースの大学運営 (国際戦略本部、IR、URA)

1 自己収入の拡大

1) 寄附金 2) 社会人学習プログラム 3) 資産の有効活用

2 収益事業の展開

1

2

3

4

学生対象

産官学連携

ガバナンスの強化

研究者対象

社会への貢献

財務基盤の強化

ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン

— ジェンダー平等促進と多様性、公平性の尊重 —

ジェンダー平等社会の実現は、多様な視点の共存と相互の寛容性に基づく創造的で豊かな社会の基盤です。次世代の育成を担う本学においても、優秀な女性研究者を育成・獲得することは、知の創出をリードする研究大学として重要な課題です。また、ジェンダー平等以外においても、あらゆる多様性、公平性を尊重し、包括的なキャンパス環境・教育研究環境整備を推進しています。

男女共同参画推進

目標の達成に向けて策定した新アクションプランの実施を通じて、教職員・学生全体で本学におけるジェンダー平等をさらに推進していきます。

京都大学男女共同参画推進アクションプラン(2022年度～2027年度) www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/gender-equality/action-plan/06

達成目標(数値目標)を設定

1. 全学の女性教員比率(特定教員を含む)を2027年度に20%とする。
2. 役員会構成員の女性比率を2027年度に25%*とする。

(※) 2023年4月現在 27.3%となり達成

男女共同参画推進センター www.cwr.kyoto-u.ac.jp/

キャリア継続支援専門部会、魅力見える化専門部会、教育・研究専門部会、広報専門部会の4つの専門部会を軸に、各種支援を実施。

育児・介護支援: 保育園入園待機乳児保育室、ベビーシッター利用育児支援、病後児保育室、おむかえ保育
教育・研究支援: 学生を対象としたジェンダー科目の実施、女子学生チャレンジプロジェクト支援事業、
研究支援・実験補助者雇用制度、研究公募・助成情報提供等

顕彰

京都大学たちばな賞(若手女性研究者・女子学生)、京都大学久能賞(理系の女子学生)



京都大学たちばな賞第15回表彰式

女子中高生への応援

女子学生の増加や志望分野の広がりを全学的に推進するために、研究の魅力を女子中高生や保護者の方々に伝える取組をさらに積極的に実施していきます。

プログラム例: 女子高生・車座フォーラム、女子高生応援大使、出前授業・オープン授業、
オープンキャンパスでの女子高生プログラム(女子高生のための工学のスヌメ)、
広報誌「京からあすへ」



障害のある学生への支援

障害の有無にかかわらず、誰もが修学・研究活動を行えるよう、様々なリソースを提供しています。

学生総合支援機構 障害学生支援部門(DRC: Disability Resource Center)

www.assdr.kyoto-u.ac.jp/drc/

京都大学における障害学生支援の拠点として、学生や教職員、受験希望者などの相談に応じています。障害により修学上何らかの支援や配慮が必要な学生の相談に、各学部・研究科等や学内外の関連機関等と連携しながら、必要に応じた修学支援を行っています。

主なリソース&プログラム

- ・ 専門的リソース(専任スタッフによる相談、合理的配慮の調整など)
- ・ 人的・物的リソース(学生サポーターの派遣・調整・養成、支援機器や書籍の貸し出しなど)
- ・ 各種プログラム: 自己理解プロジェクト、社会移行プログラム、AT(支援技術)、高大接続・移行、災害対策など



大学の動きを知る

—KyotoU News—

京都大学では、学生支援・社会連携・産官学連携・国際連携、また、卒業生の活躍の表彰、創立125周年記念事業等、各種取組を推進しています。京都大学Webサイトの「KyotoU News」では、これらのトピックスを紹介しています。

※ 所属・職名については、行事開催時点もしくは発表時点のものです。

www.kyoto-u.ac.jp/ja/news

創立記念日に「京都大学創立125周年記念行事」を実施しました

京都大学創立125周年の2022年、創立記念日である6月18日と翌19日の両日、ロームシアター京都にて記念行事を開催しました。

来賓、招待者を迎えての記念式典を挙行し、続く記念フォーラムでは本学に関わるノーベル賞受賞者11名とフィールズ賞受賞者2名が映像で紹介されたのち、「真理の探究と地球規模の課題解決」を統一テーマに、ノーベル賞受賞者の野依良治氏、小林誠氏、山中伸弥 iPS細胞研究所名誉所長・教授、本庶佑 高等研究院副院長・特別教授、吉野彰氏、利根川進氏による講演、ビデオメッセージがありました。また、湊長博 総長をファシリテーターとして受賞者4名とパネルディスカッションを行い、若い世代にエールを送りました。フォーラムには本学学生や全国の高校生も含めて約1,000名を招待し、ライブ配信でも多くの方が視聴されました。



創立125周年記念フォーラム ノーベル賞受賞者パネルディスカッション

「京都大学創立125周年秋の記念行事」を開催しました



記念行事のフィナーレを飾ったプロジェクションマッピング

夜には、プロジェクションマッピングを百周年時計台記念館東側の総合研究13号館にて実施しました。吉田キャンパスが位置する京都の東の守り神である「青龍」をストーリーテラーとして用い、京都大学の歴史を振り返りながら、125周年を一つの通過点としたこれから先の京都大学の輝きを描いたストーリーが「青龍」が進化しながら未来へ進んでいく様子とともに鮮やかに投影され、多くの観衆の目をくぎ付けにし、創立125周年記念行事のフィナーレを飾りました。

2022年11月5日にホームカミングデイに併催し、百周年時計台記念館において秋の記念行事を開催しました。

本学卒業生のプロミュージシャン山中一毅氏率いるKazuki Yamanaka Special Quartetによる京都大学ホームカミングデイジャズコンサートに続き、午後に本学卒業生で小説家の平野啓一郎氏、京都大学CFプロジェクト(Create the Future Project)等に多大なご支援をいただいている建築家の安藤忠雄氏による講演のほか、本学卒業生で俳優の辰巳琢郎氏、湊長博 総長を加えた4名で、「社会が求める人材像について～本学卒業生としての期待、本学支援者としての期待～」をテーマにパネルディスカッションを行いました。特別シンポジウムも開催し、一般市民など約500名の参加者が集いました。

夜には、プロジェクションマッピングを百周年時計台記念館東側の総合研究13号館にて実施しました。吉田キャンパスが位置する京都の東の守り神である「青龍」をストーリーテラーとして用い、京都大学の歴史を振り返りながら、125周年を一つの通過点としたこれから先の京都大学の輝きを描いたストーリーが「青龍」が進化しながら未来へ進んでいく様子とともに鮮やかに投影され、多くの観衆の目をくぎ付けにし、創立125周年記念行事のフィナーレを飾りました。

ウクライナ学生の受入れを開始しました

本学では、ウクライナの危機的状況が続くなかで、本学の学術交流協定校である、キーウ工科大学およびタラス・シェフチェンコ記念キーウ国立大学からの学生受入れを表明し、昨年度末までに18名の受入れを決定し、このうち15名が来日しました。2022年10月26日には、ウクライナ学生の歓迎セレモニーを百周年時計台記念館にて実施しました。湊長博 総長、稲垣恭子理事・副学長らが出席し、学生たちにエールを送りました。本学で受け入れたウクライナ学生に対しては、本学の「ウクライナ危機支援基金」に多方面から多くのご協力をいただいたことにより、日本への渡航費用だけでなく毎月の生活費支援の実施が可能となりました。学内でのサポートにも力を入れており、今後も学生が安心して本学での学修を継続できるように支援を行います。



歓迎セレモニーの様子

第1回京都大学北米On-site Laboratory 合同シンポジウム： Transformative Innovations in Medical and Life Sciencesを開催しました



シンポジウム会場での集合写真

海外の大学や研究機関と共同で設置している現地運営型研究室「On-site Laboratory」のうち、北米を拠点とする京都大学サンディエゴ研究施設、グラッドストーン研究所iPS細胞研究拠点、量子ナノ医療研究センターの3ラボと国際戦略本部は、2023年2月28日に米国・サンディエゴでシンポジウムを開催しました。本学から湊長博 総長、カリフォルニア大学サンディエゴ校からCorinne Peek-Asa 副学長、John M. Carethers 副学長が参加したほか、オンライン参加者も含めて学生、研究者、政府関係者、企業関係者など13か国から736名の参加登録がありました。山中伸弥 iPS細胞研究所名誉所長、斎藤通紀 高等研究院ヒト生物学高等研究拠点長による基調講演をはじめ、日米の研究者8名による医療・ライフサイエンス分野の卓越した最先端研究の成果発表が行われ、参加者から熱心な質問が寄せられるとともに分野を越えた活発な議論が行われました。

JCRファーマ株式会社から「本庶佑有志基金」および「がん免疫治療研究基金」へ 第三者割当による自己株式処分での寄附を受けました

JCRファーマ株式会社（以下、JCRファーマ）と本学との間で、本学に設置された「本庶佑有志基金」および「がん免疫治療研究基金」に対する第三者割当による自己株式処分での寄附について合意され、本学が同社の株100万株を取得したことについて、2022年12月5日に記者発表を行いました。今回のご寄附に際し、湊長博 総長からは、芦田信 JCRファーマ代表取締役会長兼社長の本学の活動に対する深いご理解と格段のご支援に対して、お礼が述べられ、感謝状を贈呈しました。本庶佑 医学研究科附属がん免疫総合研究センター長・高等研究院特別教授からは、今回のご寄附に対してのお礼が述べられるとともに、今回のご寄附が大学と企業との新しい協力体制のひとつであること、また、本学が株式を保有し、その株式の配当金を受け取ることで継続的かつ安定的な資金を得ることができ、長期にわたる若手研究者育成やがん免疫研究発展への支援が可能となることが述べられました。



感謝状贈呈後の記念写真(左から芦田JCRファーマ代表取締役会長兼社長、本庶特別教授、湊総長)

ベルギー王国のアストリッド王女殿下ご一行が来学されました



清風荘での集合写真

2022年12月9日、ベルギー王国のアストリッド王女殿下が来学し、湊長博 総長、稲垣恭子 理事・副学長、横山美夏 理事補・欧州拠点所長と懇談しました。懇談の場となった清風荘は、第一次世界大戦により焼失したルーヴェン大学図書館の再建とともに和書の寄贈に尽力した西園寺公望の別邸です。このゆかりの地でベルギーとの友好関係の重要性をあらためて確認しました。

この前日には、ベルギー有数の大学であるルーヴェン・カトリック大学長と稲垣理事・副学長が両校の交流について懇談を行いました。さらに、2023年4月17日には同大学副学長らが来学され両校の研究連携に関する意見交換が行われるなど、今後の学術交流のさらなる発展につながる機会となりました。

医学部附属病院における脳死ドナーからの肝小腸同時移植手術の実施を報告しました

医学部附属病院は、2022年8月に、脳死ドナーからの肝小腸同時移植手術を実施しました。今回の同一脳死ドナーからの肝小腸同時移植は、本邦で初めてです。小腸移植は世界的に見ても成績が良いとはいえ、成績向上のために様々な改良を重ねてきましたが、未だに肝移植成績などと比較すると十分とはいえません。脳死ドナーからの臓器移植が多数を占める北米からの報告では、同一ドナーからの肝臓及び小腸の同時移植は、小腸単独移植と比べて術後成績が良好であることが報告されています。

今回、臓器を提供していただいたドナー様及びドナーご家族様の尊い善意のもと、肝小腸同時移植を実施することができ、患者さんの術後経過は安定した良好なものとなりました。今回の肝小腸同時移植の成功によって、臓器移植医療が、より信頼のおける治療選択肢となることを期待しています。



チームを率いた波多野教授

京都大学が代表機関を務める「ゼロカーボンバイオ産業創出による資源循環共創拠点」がJSTの共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)地域共創分野・本格型に採択されました



沼田圭司教授（工学研究科）が代表を務めるこの拠点の活動が、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）の地域共創分野・本格型に移行することが決まりました。

令和3年度に同拠点の提案が地域共創・育成型に採択されてから、地域の方々の課題をお聞きし、拠点ビジョンの練り直しに取り組んできました。

育成型期間中は、ゼロカーボンの農業、水産業、ものづくりに資するプロジェクトの検討と試行的な研究開発を進めてきましたが、本格型移行後はこれらに加えて、ゼロカーボン林産業にも取り組みます。今後は、令和5年度より最長10年間の長期プロジェクトを進めて参りますが、引き続き地域の方々とのコミュニケーションを密に図りながら、拠点参画機関が協力して研究開発を進めて参ります。

山下真由子数理解析研究所助教が第1回羽ばたく女性研究者 (マリア・スクウォドフスカ=キュリー賞)を受賞しました

この賞は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）と駐日ポーランド共和国大使館が、日本の女性研究者のより一層の活躍推進に貢献することを目的に、国際的に活躍が期待される若手女性研究者を表彰するため創設されました。

山下真由子助教（現・理学研究科准教授）は、非可換幾何学を専門とし、数学のみならず物理学との境界における場の理論の研究をしています。圧倒的に学術的プレゼンスが秀でており、数学での大きな国際会議のプレナリー講演に招待されるなど、すでに世界的にもその実力が高く評価されていることから今回の受賞となりました。



堀毛悟史高等研究院准教授が日本学士院学術奨励賞を受賞しました



本賞は、優れた研究成果をあげ、今後の活躍が特に期待される若手研究者に対して、毎年6名以内に授与されています。

堀毛悟史准教授（現・理学研究科教授）は、金属イオンと有機配位子からなる配位高分子（CP）のガラス化や、プロトン伝導性に優れたCPガラスの開発、ガラスの成形性を活かした燃料電池の高性能化など、CPガラスに関わる成果が評価され、今回の受賞に至りました。

陸上競技部の山中駿さんが男子走高跳で優勝しました 囲碁部が全日本二連覇を達成しました

本学では、多くの課外活動学生団体が熱心な活動をしています。昨年度は、課外活動における本学学生の活躍も目立ちました。

陸上競技部の山中駿さんは、昨年の天皇賜盃第91回日本学生陸上競技対校選手権大会の男子走高跳で優勝し、「第37回U20日本陸上競技選手権大会」において、男子走高跳で6位入賞を果たすなど、国内の主要大会にて数多くの好成績を収めました。

また、囲碁部は、第66回全日本大学囲碁選手権に関西代表として出場し、1998年以来24年ぶりの全日本二連覇を達成しました。また、同部の岩井温子さんは、第58回全日本女子学生本因坊決定戦において優勝しました。



陸上競技部の山中さん



囲碁部の学生たち

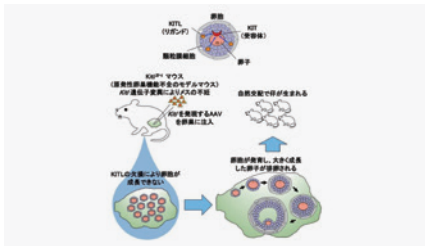
最新の研究成果を知る

—Latest research news—

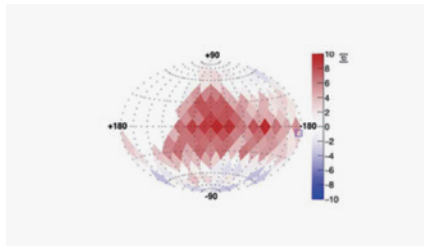
京都大学では約4,000名の多様な分野の研究者が日々研究活動を行っています。京都大学Webサイトでは「Latest research news」として、国際学術誌等に掲載された研究成果をはじめ、社会への貢献、地球規模課題への取組、また広い世代の知的好奇心を刺激できるような研究成果や取組を公開しています。

www.kyoto-u.ac.jp/ja/research-news

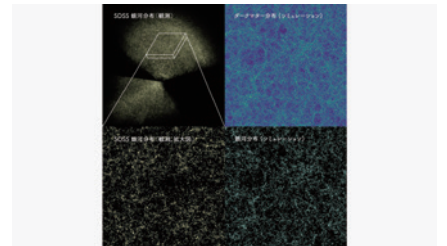
京都大学の今「最新の研究成果を知る」



マウス卵子形成不全の遺伝子治療の成功
—女性不妊治療への応用に期待—



気球による銀河中心からの初の放射線
(軟ガンマ線)の直接検出に成功
—軟ガンマ線天文学の夜明け—



AIとスーパーコンピュータで広大な銀河
地図を解読—宇宙の成り立ちを決める物
理量を精密に測定—



ヒトの声帯形態と音声言語の進化
—単純な声帯の進化が複雑な言語コ
ミュニケーションの礎となった—



クエーサーの明るさの変動に特性を発見



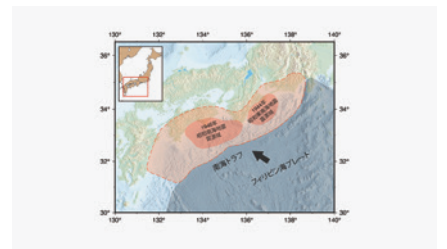
男女の消化器外科医による手術成績は
同等—女性消化器外科医のさらなる活
躍に向けて—



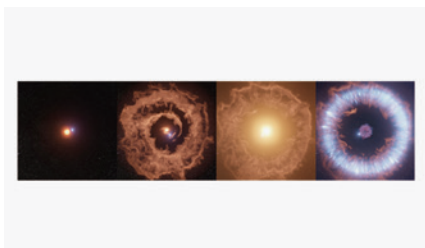
シジュウカラに言語の核:2語を1つにま
とめる力(併合)を確認



人と一緒に笑う会話ロボットを開発
—人に共感し、人と共生する会話AIの
実現に向けて—



南海トラフ巨大地震が連続発生する確率
を算出



超新星の電波再増光が示す連星進化の
道筋



害虫の王者が芋虫の足跡を嫌うことを
発見—はらぺこあおむしが自然界の秩
序を保つ?—



大気中かつ室温での太陽電池の作製を
実現—低コストで簡便に太陽電池の製
造が可能に—

教職員・学生を知る

— ザッツ・京大 —

京都大学の「自由」が生み出す、すべてがここに。

オフィシャルサイトだけでは伝えきれない本学の魅力を発信するために、京都大学の教職員、学生、卒業生へのインタビューや、部局の紹介といった記事を月1回のペースで掲載する特設サイトです。京都大学の先生はこんなこともしている、学生がこんな活動もしている、様々なテーマで、たくさんの写真とともに取材内容を紹介しています。

www.thats.pr.kyoto-u.ac.jp/

ザッツ・京大



京都大学の今「教職員・学生を知る」



身体に負担の少ないがんの画像診断法を開発！
乳がん女性をイメージングの力でサポートする女性科学者
飯間麻美 助教(医学部附属病院)



気にも留めていなかった昆虫が、実はすごい存在かも。
化学生態学の研究室で生まれた「虫糞茶」
丸岡毅さん(農学研究科博士課程)



コアラのおしりが人類誕生の謎を解くカギに!?
文理両面から迫る独自の「しっぽ学」とは
東島沙弥佳 特定助教(白眉センター)



私たちはどうして感動するのか?
心理学研究からわかること
権割仁平さん(教育学研究科博士後期課程)



「宇宙医学」を志す京大生が迫る、ALS研究を支援する
宇宙兄弟発「せりか基金」とALS研究の最前線!
井上治久 教授(iPS細胞研究所)、齊藤良佳さん(医学部)
黒川久里子さん(せりか基金代表理事)

京大先生シアター www.kyoto-u.ac.jp/explore/theater/

京大のユニークな先生、研究が動画でまるわかり!こんな研究しています、研究室の雰囲気はこんな感じ、学生さんの好奇心を待っています、など、研究室を訪問しての取材による短い動画で紹介しています。

最先端と伝統の施設を知る

最先端研究・教育施設

指定国立大学法人構想、基本方針「世界に輝く研究大学を目指して」に挙げている取組を実施する部局等施設の例をご紹介します。



iPS細胞研究所(CiRA)
www.cira.kyoto-u.ac.jp



高等研究院(KUIAS) kuias.kyoto-u.ac.jp
物質-細胞統合システム拠点(iCeMS)、ヒト生物学高等研究拠点(ASHBi)



医学部附属病院 先制医療・生活習慣病研究センター



医学部附属病院 先端医療研究開発機構(iACT)
iact.kuhp.kyoto-u.ac.jp



国際高等教育院 www.z.k.kyoto-u.ac.jp



国際科学イノベーション棟(産官学連携本部他) www.saci.kyoto-u.ac.jp

重要文化財と登録有形文化財

京都大学には重要文化財として指定されている1施設、登録有形文化財として登録されている11施設があります。

重要文化財(建造物)



清風荘 www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/facilities/photo/list/seihuso

明治末～大正期に西園寺公望の私邸として建てられた近代和風建築。昭和19年に庭園とともに住友家より京都大学に寄贈され、現在は教育、迎賓、会議施設として利用されています。



登録有形文化財(建造物)



本部構内正門

明治26年、第三高等中学校正門として建設。門柱は石面と擬石面を交互に重ねています。現在は門の横に京都大学と書かれた学校銘板があり、入学式や卒業式の日の記念撮影スポットとなっています。



人文科学研究所附属 東アジア人文情報学研究中心

昭和5年建築。スパニッシュ・ミッション様式を基調に外観・内装ともに高密度のデザインが施され、塔付2階建の西棟と、平屋建の他棟が中庭を囲みロ字形平面を構成します。



楽友会館

大正14年建築。本学創立25周年記念の同窓会館。スパニッシュ・ミッションを基調としながら、Y字型の柱に支えられた円みをもつポーチ屋根が破調を与えています。家具と内部空調も大正建築の特徴を伝えています。



文学部陳列館

大正3年建築。フローイングペディメントや楕円形の窓などネオバロックに傾倒しながらも、細部装飾にはセセッション的意匠が認められ大正期建築の特徴も示しています。



旧農学部附属演習林事務室

昭和6年建築。スパニッシュ瓦葺、ペランダをめぐらしたバンガロー風の木造建築で、ペランダ天井の意匠などモダニズムの清新さ溢れる作品となっています。

ノーベル賞

受賞者	受賞年	区分	受賞時の職名等
吉野 彰	2019年	化学賞	(京大卒)旭化成株式会社名誉フェロー・名城大学教授
本庶 佑	2018年	生理学・医学賞	(京大卒)京都大学特別教授
赤崎 勇	2014年	物理学賞	(京大卒)名城大学教授
山中 伸弥	2012年	生理学・医学賞	京都大学教授
小林 誠	2008年	物理学賞	高エネルギー加速器研究機構名誉教授(元京都大学理学部助手)
益川 敏英	2008年	物理学賞	京都大学名誉教授
野依 良治	2001年	化学賞	(京大卒)名古屋大学教授
利根川 進	1987年	生理学・医学賞	(京大卒)米国マサチューセッツ工科大学教授
福井 謙一	1981年	化学賞	(京大卒)京都大学教授
朝永 振一郎	1965年	物理学賞	(京大卒)東京教育大学教授
湯川 秀樹	1949年	物理学賞	(京大卒)京都大学教授

フィールズ賞

受賞者	受賞年	受賞時の職名等
森 重文	1990年	(京大卒)京都大学教授
廣中 平祐	1970年	(京大卒)米国ハーバード大学教授

ガウス賞

受賞者	受賞年	受賞時の職名等
伊藤 清	2006年	京都大学名誉教授

チャーン賞

受賞者	受賞年	受賞時の職名等
柏原 正樹	2018年	京都大学名誉教授・数理解析研究所特任教授

ロレアル・ユネスコ女性科学賞

受賞者	受賞年	受賞時の職名等
稲葉 カヨ	2014年	京都大学教授
米沢 富美子	2005年	(京大卒)慶應義塾大学名誉教授

京都賞

受賞者	受賞年	分野	受賞時の職名等
柏原 正樹	2018年(第34回)	数理科学	京都大学名誉教授・数理解析研究所特任教授
金出 武雄	2016年(第32回)	情報科学	(京大卒)カーネギーメロン大学ワイタカー記念全学教授(元京都大学工学部助教授)
本庶 佑	2016年(第32回)	生命科学(分子生物学・細胞生物学・神経生物学)	(京大卒)京都大学名誉教授
根井 正利	2013年(第29回)	生物科学(進化・行動・生態・環境)	ペンシルベニア州立大学教授(元京都大学農学部助手)
山中 伸弥	2010年(第26回)	バイオテクノロジー及びメディカルテクノロジー	京都大学教授
赤崎 勇	2009年(第25回)	エレクトロニクス	(京大卒)名城大学教授 名古屋大学特別教授・名誉教授
アラン・カーティス・ケイ	2004年(第20回)	情報科学	京都大学客員教授
伊藤 清	1998年(第14回)	数理科学	京都大学名誉教授
林 忠四郎	1995年(第11回)	地球科学・宇宙科学	京都大学名誉教授

日本国際賞

受賞者	受賞年	分野	受賞時の職名等
長尾 真	2005年(第21回)	情報・メディア技術	(京大卒)元総長・京都大学名誉教授 (独)情報通信研究機構理事長
竹市 雅俊	2005年(第21回)	細胞生物学	京都大学客員教授 (独)理化学研究所発生・再生科学総合研究センター長
本多 健一	2004年(第20回)	環境改善に貢献する化学技術	東京工芸大学長(元京都大学工学部教授)

文化勲章

受章者	受章年	区分
吉川 忠夫	2022年	中国思想史・中国史
森 重文	2021年	数学
坂口 志文	2019年	免疫学
長尾 真	2018年	情報工学
中西 重忠	2015年	神経科学
本庶 佑	2013年	医化学・分子免疫学
山田 康之	2012年	植物分子細胞生物学・植物バイオテクノロジー
山中 伸弥	2012年	幹細胞生物学
柳田 充弘	2011年	分子遺伝学・分子生理学
日沼 頼夫	2009年	微生物学
益川 敏英	2008年	物理学
伊藤 清	2008年	解析学、確率過程論

受章者	受章年	区分
岡田 節人	2007年	発生生物学
沢田 敏男	2005年	農業工学
西島 和彦	2003年	素粒子物理学
満田 久輝	1994年	栄養化学
梅棹 忠夫	1994年	民族学
大隅 健一郎	1993年	商法
桑原 武夫	1987年	西洋文化
林 忠四郎	1986年	天体核物理学
貝塚 茂樹	1984年	中国社会
福井 謙一	1981年	工業化学
今西 錦司	1979年	霊長類学
田中 美知太郎	1978年	哲学、西洋古典学
櫻田 一郎	1977年	応用化学、高分子化学

受章者	受章年	区分
廣中 平祐	1975年	数学
早石 修	1972年	生化学
桑田 義備	1962年	植物細胞学
鈴木 虎雄	1961年	中国文学
新村 出	1956年	言語学、国語学
羽田 亨	1953年	東洋史
佐々木 惣一	1952年	憲法学、行政学
田邊 元	1950年	哲学
木原 均	1948年	遺伝学
狩野 直喜	1944年	中国文学
湯川 秀樹	1943年	原子核物理学
西田 幾多郎	1940年	哲学
佐々木 隆興	1940年	生化学、病理学

紫綬褒章

(注) 2010年以降の紫綬褒章受章者を掲載

受章者	受章年
松田 道行	2023年
高橋 義朗	2020年
佐藤 卓巳	2020年
杉山 淳司	2020年
大須賀 篤弘	2019年
影山 龍一郎	2018年
中條 善樹	2018年

受章者	受章年
小川 誠司	2018年
津田 敏隆	2017年
橋田 充	2017年
稲葉 カヨ	2016年
澤本 光男	2015年
吉田 潤一	2015年
守倉 正博	2015年

受章者	受章年
野田 進	2014年
西村 いくこ	2014年
伏木 亨	2014年
前野 悦輝	2013年
西村 和雄	2012年
小杉 泰	2012年
森棟 公夫	2012年

受章者	受章年
北 徹	2012年
平尾 一之	2012年
伊藤 邦武	2011年
丸岡 啓二	2011年
中尾 一和	2011年
瀬津 家久	2011年

受章者	受章年
北川 進	2011年
鍋島 陽一	2010年
西田 栄介	2010年
林 民生	2010年
森 和俊	2010年
今中 忠行	2010年

文化功労者

(注) 1990年以降の選出者を掲載

氏名	選出年
清水 昌	2022年
金出 武雄	2019年
興膳 宏	2019年
上田 閑照	2018年
森 和俊	2018年
坂口 志文	2017年
成宮 周	2017年
村松 岐夫	2017年
白石 隆	2016年

氏名	選出年
松沢 哲郎	2013年
吉川 忠夫	2013年
朝尾 直弘	2012年
諸熊 奎治	2012年
玉尾 皓平	2011年
山中 伸弥	2010年
長尾 真	2008年
西田 龍雄	2008年
中西 重忠	2006年

氏名	選出年
眞崎 知生	2005年
柳田 充弘	2004年
竹市 雅俊	2004年
伊藤 清	2003年
常脇 恒一郎	2002年
猪木 正道	2001年
長田 重一	2001年
益川 敏英	2001年
本庶 佑	2000年

氏名	選出年
河合 隼雄	2000年
石井 米雄	2000年
山田 康之	1999年
田畑 茂二郎	1997年
奥田 東	1996年
小葉田 淳	1996年
坂井 利之	1996年
於保 不二雄	1995年

氏名	選出年
岡田 節人	1995年
上山 春平	1994年
沢田 敏男	1994年
西島 和彦	1993年
堀尾 正雄	1993年
沼 正作	1991年
梅棹 忠夫	1991年
森 重文	1990年

日本学士院賞

(注) 2010年以降の恩賜賞/日本学士院賞/日本学士院エッジンバラ公賞/日本学士院学術奨励賞受賞者を掲載 (※1)恩賜賞・日本学士院賞 (※2)日本学士院学術奨励賞

受賞者	受賞年
堀毛 悟史 ^(※2)	2023年
野田 進	2022年
村上 章	2022年
岩井 一宏	2021年
斎藤 通紀 ^(※1)	2020年
倉本 尚徳 ^(※2)	2020年
依光 英樹 ^(※2)	2020年

受賞者	受賞年
長澤 丘司	2019年
丸岡 啓二	2018年
堀江 武	2018年
清水 展	2017年
森 和俊 ^(※1)	2016年
河内 良弘	2016年
西田 栄介	2016年

受賞者	受賞年
北川 進	2016年
竹内 理 ^(※2)	2016年
中村 和弘 ^(※2)	2015年
中島 啓	2014年
田中 紘一	2014年
斎藤 通紀 ^(※2)	2014年
興膳 宏	2013年

受賞者	受賞年
鍋島 陽一	2013年
吉川 一義 ^(※1)	2012年
佐藤 文彦	2012年
熊谷 英彦	2012年
坂口 志文	2012年
田中 貴浩 ^(※2)	2012年

受賞者	受賞年
平田 聡 ^(※2)	2012年
庄垣内 正弘	2011年
望月 拓郎	2011年
山中 伸弥 ^(※1)	2010年
梅原 郁	2010年
望月 拓郎 ^(※2)	2010年

日本学士院会員

(注) 1990年以降の選定者を掲載、順序は、日本学士院公表順

氏名	選定年
吉田 和彦	2022年
矢野 誠	2021年
金出 武雄	2020年
吉野 彰	2020年
北川 進	2019年
藤吉 好則	2019年
伊藤 邦武	2018年
丸山 利輔	2018年
興膳 宏	2016年
諸熊 奎治	2015年
長尾 真	2014年
間野 英二	2014年

氏名	選定年
村松 岐夫	2014年
和田 英太郎	2014年
赤崎 勇	2014年
小林 道夫	2013年
鈴木 茂嗣	2013年
山中 伸弥	2013年
宇阪 直行	2012年
佐藤 幸治	2012年
西村 和雄	2012年
藺田 坦	2011年
藤田 昌久	2010年
益川 敏英	2010年

氏名	選定年
長田 重一	2010年
深谷 賢治	2009年
中西 重忠	2009年
龍田 節	2008年
柏原 正樹	2007年
吉川 忠夫	2006年
御牧 克己	2006年
常脇 恒一郎	2005年
本庶 佑	2005年
林 巴奈夫	2004年
奥田 昌道	2004年
上田 閑照	2003年

氏名	選定年
森本 信男	2003年
竹市 雅俊	2000年
入谷 明	2000年
西田 龍雄	1999年
野崎 一	1999年
上柳 克郎	1998年
森 重文	1998年
山田 晶	1998年
島田 虔次	1997年
武内 義範	1995年
中川 久定	1995年
山田 康之	1995年

氏名	選定年
井村 裕夫	1994年
辻村 公一	1994年
平場 安治	1994年
宮崎 義一	1994年
林屋 辰三郎	1993年
岡村 誠三	1991年
福山 敏男	1991年
前田 憲一	1991年
小川 環樹	1990年
沢田 敏男	1990年
西島 和彦	1990年

組織図 (令和5年4月1日現在)



教員組織

人文・社会科学域 (6)

- 文学系
- 教育学系
- 法学系
- 経済学系
- 人文学系
- 統合経済学系

自然科学域 (26)

- 数学系 *1
- 物理・宇宙物理学系 *1
- 地球惑星科学系 *1
- 純正化学系 *1
- 生物科学系 *1
- 地球工学系 *2
- 建築学系 *2
- 物理工学系 *2
- 電気電子工学系 *2
- 工業化学系 *2
- 農学資源経済学系 *3
- 農芸化学系 *3
- 生物生産環境学系 *3
- 応用生物学系 *3
- エネルギー科学系
- 情報学系
- 生命科学系
- 統合化学系
- 医生物学系
- エネルギー理工学系
- 生存圏科学系
- 防災学系
- 基礎物理学系
- 数理解析学系
- 複合原子力科学系
- 生態フィールド学系

医・薬学域 (5)

- 基礎・社会医学系 *4
- 臨床医学系 *4
- 人間健康科学系
- 薬学系
- iPS細胞学系

学際学域 (2)

- 人間・環境学系
- 地域研究学系

全学教員部

*1 理学系群 *2 工学系群 *3 農学系群 *4 医学系群

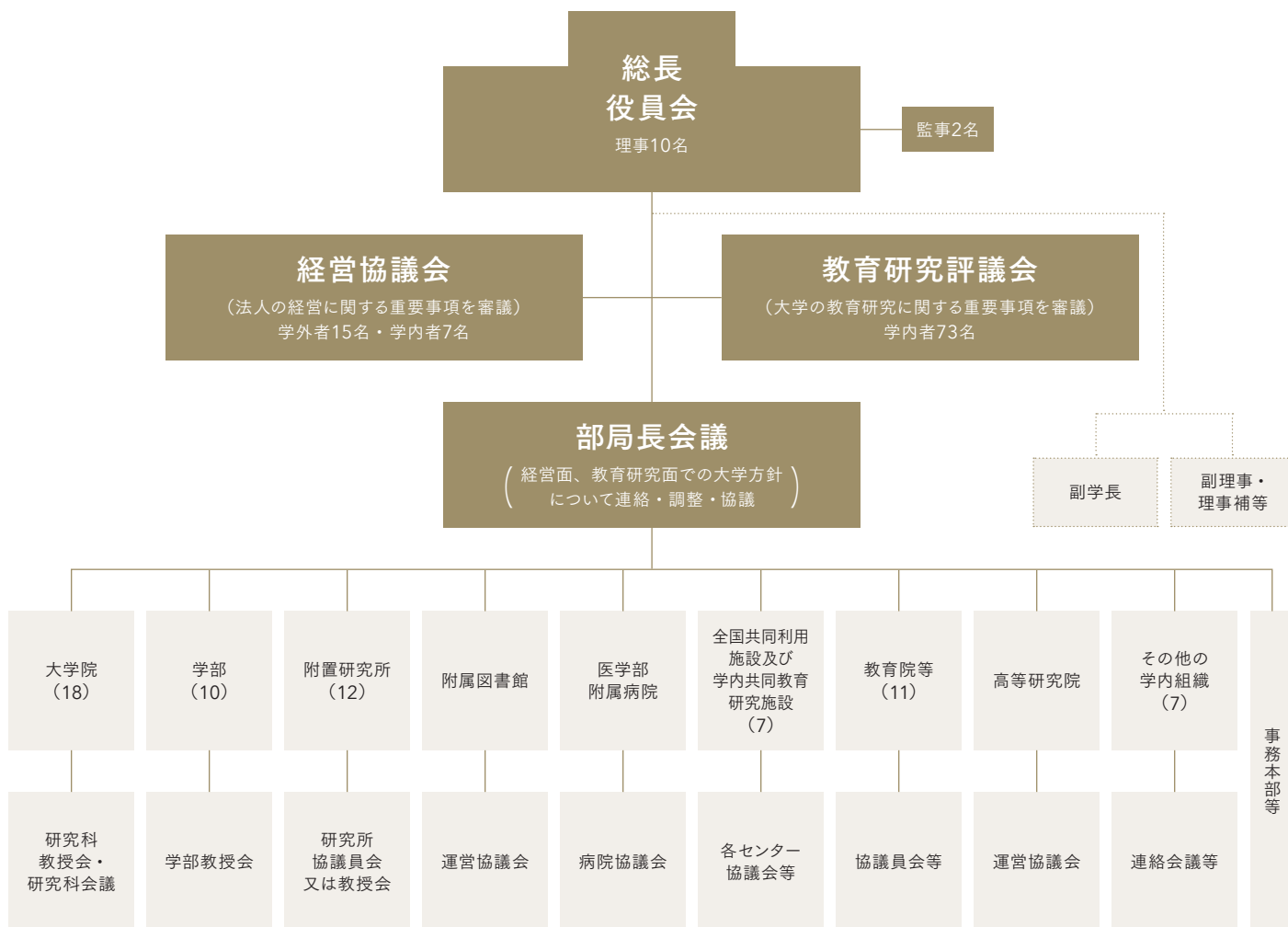
学 系:学術分野の専門性に応じた教員組織。教員人事に関する事項を実施する単位。

学系群:学系間で特に緊密な関係に基づく連携を図る必要がある場合、複数の学系が恒常的に一体となり構成。

学 域:学系を体系的に集合させた教員組織。

全学教員部:全学として担うべき教育、研究その他の業務を実施し、又は支援する組織の教員が所属する教員組織。

管理運営機構



役員 (令和5年4月1日現在)

氏名	職名	担当	特命事項・その他の所掌事項	任期
湊 長博	総長			R2.10.1~R8.9.30
稲垣 恭子	理事(副学長)	男女共同参画、国際、渉外(基金・同窓会)		R4.10.1~R6.9.30
岩井 一宏	理事(プロボスト、副学長)	企画・調整、附属病院		R4.10.1~R6.9.30
江上 雅彦	理事(副学長)	財務、施設、環境	資産管理・運用、財源確保・創出、 キャンパス計画・整備、交通	R5. 4.1~R6.9.30
串田 俊巳	理事	総務、労務、人事、危機管理	事務改革(DX推進)、報道対応	R4. 7.1~R6.6.30
國府 寛司	理事(副学長)	教育、学生、入試	学生国際交流、厚生補導	R5. 4.1~R6.9.30
澤田 拓子 [※]	理事	産官学連携		R4. 4.1~R6.3.31
榎木 哲夫	理事(副学長)	研究倫理、研究公正、研究規範	監査、研究費不正対応事務	R5. 4.1~R6.9.30
時任 宣博	理事(副学長)	研究、評価	競争的研究資金戦略	R4.10.1~R6.9.30
野崎 治子	理事	広報	職員研修	R4. 4.1~R6.3.31
引原 隆士	理事(副学長)	情報基盤、図書館		R4.10.1~R6.9.30

※非常勤

監事 (令和5年4月1日現在)

氏名	現職等	任期
山口 佳三	元北海道大学総長	R2.9.1~R6.8.31
西村 義明 [※]	住友理工株式会社特別顧問	R2.9.1~R6.8.31

※非常勤

京都大学入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

【学士課程】

京都大学は、日本の文化、学術が育まれてきた京都の地に創設された国立の総合大学として、社会の各方面で活躍する人材を数多く養成してきました。創立から1世紀以上を経た21世紀の今日も、建学以来の「自由の学風」と学術の伝統を大切にしながら、教育、研究活動をおこなっています。

京都大学は、教育に関する基本理念として「対話を根幹とした自学自習」を掲げています。京都大学の目指す教育は、学生が教員から高度の知識や技術を習得しつつ、同時に周囲の多くの人々とともに研鑽を積みながら、主体的に学問を深めることができるように教えることです。なぜなら、自らの努力で得た知見こそが、次の学術展開につながる大きな力となるからです。このため、京都大学は、学生諸君に、大学に集う教職員、学生、留学生など多くの人々との交流を通じて、自ら学び、自ら幅広く課題を探索し、解決への道を切り拓く能力を養うことを期待するとともに、その努力を強く支援します。このような方針のもと、優れた学知を継承し創造的な精神を養い育てる教育を実践するため、自ら積極的に取り組む主体性を持った人を求めています。

京都大学は、その高度で独創的な研究により世界によく知られています。そうした研究は共通して、多様な世界観・自然観・人間観に基づき、自由な発想から生まれたものであると同時に、学問の基礎を大切にする研究、ないし基礎そのものを極める研究であります。優れた研究は必ず確固たる基礎的学識の上に成り立っています。

京都大学が入学を希望する者に求めるものは、以下に掲げる基礎的な学力です。

1. 高等学校の教育課程の教科・科目の修得により培われる分析力と俯瞰力
2. 高等学校の教育課程の教科・科目で修得した内容を活用する力
3. 外国語運用能力を含むコミュニケーションに関する力

このような基礎的な学力があってはじめて、入学者は、京都大学が理念として掲げる「自学自習」の教育を通じ、自らの自由な発想を生かしたより高度な学びへ進むことが可能となります。

京都大学は、本学の学風と理念を理解して、意欲と主体性をもって勉学に励むことのできる人を国内外から広く受け入れます。

受入れにおいては、各学部の理念と教育目的に応じて、その必要とするところにしたがって、入学者を選抜します。一般選抜では、教科・科目等を定めて、大学入学共通テストと個別学力検査の結果を用いて基礎学力を評価します。特色入試では、書類審査と各学部が定める方法により、高等学校での学修における行動や成果、個々の学部・学科の教育を受けるにふさわしい能力と志を評価します。

各学部のアドミッション・ポリシー www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/curriculum/education/undergrad

【高大接続型】特色入試

本学は、平成28年度入学者選抜から高等学校における幅広い学習に裏付けられた総合力と学ぶ力および高い志を評価し、個々の学部が定めたカリキュラムと教育コースを受けるにふさわしい学力と意欲を備えた者を選抜する「京都大学特色入試」を導入しています。

高大接続と個々の学部の教育を受ける基礎学力を重視し、

- 1 高等学校での学修における行動と成果の判定
 - 2 個々の学部におけるカリキュラムや教育コースへの適合力の判定
- を行い、1と2の判定を併せて、志願者につき高等学校段階までに育成されている学ぶ力および個々の学部の教育を受けるにふさわしい能力並びに志を総合的に評価して選抜します。詳しくは、Webサイトで紹介しています。

www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku



学部

学部	学科	学科目等
	附属施設等	
 総合人間学部 平成4年10月開設	総合人間学科	人間科学系、認知情報学系、国際文明学系、文化環境学系、自然科学系
 文学部 明治39年9月開設	人文学科	哲学基礎文化学、東洋文化学、西洋文化学、歴史基礎文化学、行動・環境文化学、基礎現代文化学
 教育学部 昭和24年5月開設	教育科学科	現代教育基礎学、教育心理学、関連教育システム論
 法学部 明治32年9月開設		基礎法学、公法、民刑事法、政治学
 経済学部 大正8年5月開設	経済経営学科	理論・情報、経済史・思想史、財政・金融、産業・労働、国際経済、経営、会計
 理学部 大正3年7月開設	理学科	数学、物理学・宇宙物理学、地球惑星科学、化学、生物科学
 医学部 明治32年9月開設	医学科	分子生物学、細胞学・組織学、発生学・遺伝学、人体構造機能学、臨床入門医学、環境・社会医学、内科学、外科学、眼科学、婦人科学・産科学、小児科学、皮膚科学、形成外科学、泌尿器科学、耳鼻咽喉科学、整形外科科学、精神医学、放射線医学・核医学、麻酔学、臨床神経学、臨床検査医学、口腔外科学
	人間健康科学科	先端看護科学、先端リハビリテーション科学、総合医療科学
	病院（明治32年12月開設）	
 薬学部 昭和35年4月開設	薬科学科	創薬科学
	薬学科	医療薬科学
 工学部 大正3年7月開設	地球工学科	土木工学、環境工学、資源工学
	建築学科	建築学
	物理工学科	機械システム学、材料科学、エネルギー応用工学、原子核工学、宇宙基礎工学
	電気電子工学科	電気電子工学
	情報学科	計算機科学、数理工学
	工業化学科	創成化学、先端化学、化学プロセス工学
 農学部 大正12年11月開設	資源生物科学科	資源生物科学
	応用生命科学科	応用生命科学
	地域環境工学科	地域環境工学
	食料・環境経済学科	食料・環境経済学
	森林科学科	森林科学
	食品生物科学科	食品生物科学

(注)改組により、学年進行完了後廃止される旧専攻等については、記載していない



京都大学入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

[大学院課程]

京都大学は、創立以来の「自由の学風」のもと、世界最高水準の研究を推進し、優れた研究者、ならびに高度専門職業人の養成に努めてきました。大学院の各研究科は、このような学風と学術の伝統を踏まえて、さらに努力を重ね、世界に誇る独創的な学術研究の推進と、社会の各方面で指導的な役割を果たす人材の養成に取り組むと考えています。そのために、日本国内はもとより世界各地から、優れた資質を有し学問に対する意欲にあふれた人を広く受け入れたいと願っています。

大学院の各研究科では、独自に教育と研究の理念・目的を定めて、それぞれの分野で積極的な活動をおこなっています。その高度で独創的な研究の成果は、わが国だけでなく国際的にも注目されています。そうした研究は共通して、京都大学らしい多様な世界観・自然観・人間観に基づく自由な研究であると同時に、学問の基礎を大切にする研究、ないし基礎そのものを極める研究であります。京都大学は、このような大学の学風や伝統を理解し、自ら課題を設定して探求するための十分な基礎学力を備えており、専門分野で積極的な研究をおこなう意欲をもった人の入学を期待しています。

[専門職大学院課程]

京都大学に設置された専門職大学院は、本学独自の学風と伝統を踏まえながらも、専門職大学院が目的とする、高度で専門的な知識・能力を備えた専門職業人の養成を使命として、積極的に教育と研究を進めています。専門職大学院は、それぞれの理念や教育方針のもとで、独自のカリキュラムを整え、理論と実務をつなぐ実践的な教育をおこなっており、その入学者選抜にあたっては、優れた資質を有する人を幅広く受け入れたいと願っています。学士課程の卒業生だけでなく、すでに専門職を経験しさらに高い専門的能力を得たいと願う社会人も、積極的に受け入れたいと考えています。











各研究科等のアドミッション・ポリシー www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/curriculum/graduate/daigakuin/grad

大学院

◎印は寄附講座

研究科	専攻等	基幹講座等
	附属施設等	
 文学研究科 昭和28年4月開設	文献文化学	東洋文献文化学、西洋文献文化学
	思想文化学	思想文化学
	歴史文化学	歴史文化学
	行動文化学	行動文化学
	現代文化学	現代文化学
	京都大学・ハイデルベルク大学国際連携文化越境	文化越境
	(専攻共通)	総合文化学
 教育学研究科 昭和28年4月開設	教育学環	教育・人間科学、教育認知心理学、臨床心理学、教育社会学、連携教育学
		心理教育相談室(昭和55年4月開設)、臨床教育実践研究センター(平成9年4月開設)
 法学研究科 昭和28年4月開設	法政理論	法史学、法理論、外国法、公法、国際関係法、民事法、企業関係法、社会法、刑事法、政治史、政治行政分析、公共政策
	法曹養成	法理論系、公法系、民事法系、刑事法系、法実務系
		法政策共同研究センター(令和3年4月開設)
 経済学研究科 昭和28年4月開設	経済学	経済理論、統計・情報分析、歴史・思想分析、比較制度・政策、金融・財政、市場動態分析、現代経済学、国際経営・経済分析、経営管理・戦略、市場会計分析、事業創成、ファイナンス工学、ビジネス科学
	国際連携グローバル経済・地域創造	グローバル経済・地域創造
		プロジェクトセンター(平成12年11月開設)、東アジア経済研究センター(平成14年12月開設)

研究科	専攻等	基幹講座等
	附属施設等	
 理学研究科 昭和28年4月開設	数学・数理解析	相関数理、表現論代数構造論、多様体論、解析学、基礎数理、アクチュアリーサイエンス客員
	物理学・宇宙物理学	相関重力基礎論、物性基礎論、非線形物理学、物質物理学、量子光学、物質・時空基礎論、粒子物理学、核物理学、宇宙放射学、宇宙物理学、宇宙構造学
	地球惑星科学	相関地球惑星科学、固体地球物理学、水圏地球物理学、大気圏物理学、太陽惑星系電磁気学、地球テクトニクス、地球物質科学、地球生物圏史
	化学	相関化学、理論化学、物理化学、物性化学、無機化学、有機化学、生物化学
	生物科学	相関動植物共生学、自然史学、動物科学、人類学、分子植物科学、進化植物科学、情報分子細胞学、機能統合学、高次情報形成学
	天文台〔花山天文台（昭和4年10月開設）、飛騨天文台（昭和43年11月開設）、岡山天文台（平成30年4月開設）〕、地磁気世界資料解析センター（昭和52年4月開設）、地球熱学研究施設本部（平成9年4月開設）、地球熱学研究施設火山研究センター（平成9年4月開設）、サイエンス連携探索センター（平成31年4月開設）、植物園（大正12年4月開設）	
 医学研究科 昭和30年7月開設	医学	生体情報科学、生体構造医学、生体制御医学、腫瘍生物学、基礎病態学、感染・免疫学、法医学、内科学、皮膚生命科学、発生発達医学、放射線医学、臨床病態解析学、外科学、侵襲反応制御医学、器官外科学、感覚運動系外科学、分子生体統御学、遺伝医学、高次脳科学、脳病態生理学、◎呼吸管理睡眠制御学、◎地域医療システム学、◎運動器機能再建学、◎創薬医学、◎リウマチ性疾患先進医療学、◎脳機能総合研究センター神経機能回復・再生医学、◎健康加齢医学、◎新生児学
	医科学	
	社会健康医学系	健康解析学、健康管理学、健康要因学、国際保健学
	人間健康科学系	先端基盤看護科学、先端中核看護科学、先端広域看護科学、先端理学療法学、先端作業療法学、基礎系医療科学、臨床系医療科学、理工系医療科学、近未来システム・技術創造
	京都大学・マギル大学 ゲノム医学国際連携	
	(専攻共通)	先端・国際医学
動物実験施設（昭和47年5月開設）、先天異常標本解析センター（昭和50年4月開設）、総合解剖センター（昭和54年4月開設）、脳機能総合研究センター（平成22年4月開設）、ゲノム医学センター（平成16年4月開設）、医学教育・国際化推進センター（平成29年4月開設）、がん免疫総合研究センター（令和2年4月開設）、医療DX教育研究センター（令和4年4月開設）		
 薬学研究科 昭和28年4月開設	薬科学	薬品創製化学、薬品機能統御学、薬品製剤設計学、生体分子薬学、生体機能薬学、生体情報薬学
	薬学	薬品動態医療薬学、病態機能解析学
	創発医薬科学	創発医薬科学
	薬用植物園（昭和48年4月開設）、統合薬学教育開発センター（平成22年4月開設）	
 工学研究科 昭和28年4月開設	社会基盤工学	応用力学、資源工学、構造工学、水工学、地盤力学、空間情報学、都市基盤設計学、◎災害リスクマネジメント工学（JR西日本）
	都市社会工学	都市社会計画学、交通マネジメント工学、地震ライフライン工学、構造物マネジメント工学、河川流域マネジメント工学、ジオマネジメント工学、都市基盤システム工学、地球資源学
	都市環境工学	環境デザイン工学、環境システム工学、環境衛生学
	建築学	建築保全再生学、人間生活環境学、建築史学、建築構法学、建築環境計画学、建築設計学、建築構造学、建築生産工学、都市空間工学、居住空間学、環境材料学、環境構成学
	機械理工学	機械システム創成学、生産システム工学、機械材料力学、流体理工学、物性工学、機械力学、先端機械理工学
	マイクロエンジニアリング	構造材料強度学、ナノシステム創成工学、ナノサイエンス、マイクロシステム創成、◎デジタル設計生産学
	航空宇宙工学	航空宇宙力学、航空宇宙基礎工学、航空宇宙システム工学
	原子核工学	量子ビーム科学、量子物質工学、核エネルギー工学
	材料工学	材料設計工学、材料プロセス工学、先端材料物性学、材料物性学、先端材料機能学、材料機能学、◎非鉄製錬学
	電気工学	先端電気システム論、システム基礎論、生体医工学、電磁工学、◎優しい地球環境を実現する先端電気機器工学
	電子工学	集積機能工学、電子物理工学、電子物性工学、量子機能工学、◎先端スマートセンシング（ソニーセミコンダクタソリューションズ）
	材料化学	機能材料設計学、無機材料化学、有機材料化学、高分子材料化学、ナノマテリアル、◎ガラス基礎科学
	物質エネルギー化学	エネルギー変換化学、基礎エネルギー化学、基礎物質化学、触媒科学
	分子工学	生体分子機能化学、分子理論化学、量子機能化学、応用反応化学
	高分子化学	先端機能高分子、高分子合成、高分子物性
	合成・生物化学	有機設計学、合成化学、生物化学
	化学工学	環境プロセス工学、化学工学基礎、化学システム工学
光・電子理工学教育研究センター（昭和53年4月開設）、流域圏総合環境質研究センター（平成7年4月開設）、量子理工学教育研究センター（平成11年4月開設）、桂インテックセンター（平成13年4月開設）、情報センター（平成14年4月開設）、環境安全衛生センター（平成16年4月開設）、工学基盤教育研究センター（平成30年4月開設）、学術研究支援センター（平成24年12月開設）、ミャンマー工学教育拡充支援ユニット（平成25年9月開設）		

研究科	専攻等	基幹講座等	
	附属施設等		
 農学研究科 昭和28年4月開設	農学	作物科学、園芸科学、耕地生態科学、品質科学	
	森林科学	森林環境科学、森林保全管理学、生物材料工学、生物材料科学	
	応用生命科学	応用生化学、分子細胞科学、応用微生物学、生物機能化学	
	応用生物科学	資源植物科学、植物保護科学、動物遺伝増殖学、動物機能開発学、海洋生物資源学、海洋微生物学、海洋生物生産学	
	地域環境科学	比較農業論、生産生態科学、地域環境開工学、地域環境管理工学、生物生産工学、◎糸状菌・環境インターフェイス工学	
	生物資源経済学	農企業経営情報学、国際農林経済学、比較農史農学論	
	食品生物科学	食品生命科学、食品健康科学、食品生産工学	
	農場 本場（昭和3年11月開設・平成28年4月移転）、京都農場（大正13年5月開設）、牧場（昭和49年4月開設）		
 人間・環境学研究科 平成3年4月開設	人間・環境学	数理・情報科学、人間・社会・思想、芸術文化、認知・行動・健康科学、言語科学、東アジア文明、共生世界、文化・地域環境、物質科学、地球・生命環境	
	学術越境センター（令和5年4月開設）		
 エネルギー科学研究科 平成8年4月開設	エネルギー社会・環境科学	社会エネルギー科学、エネルギー社会環境学	
	エネルギー基礎科学	エネルギー反応学、エネルギー物理学	
	エネルギー変換科学	エネルギー変換システム学、エネルギー機能設計学	
	エネルギー応用科学	エネルギー材料学、資源エネルギー学	
 アジア・アフリカ地域研究研究科 平成10年4月開設	東南アジア地域研究	生態環境論、地域変動論、◆総合地域論	
	アフリカ地域研究	生業生態論、社会共生論、アフリカ潜在力	
	グローバル地域研究	平和共生・生存基盤論、イスラーム世界論、南アジア・インド洋世界論	
 情報学研究科 平成10年4月開設	情報学	脳認知科学、認知システム、知能メディア、社会情報モデル、社会情報ネットワーク、生物圏情報学、応用解析学、非線形物理学、応用数理学、応用数学、システム数理、数理物理学、人間機械共生系、システム構成論、システム情報論、コンピュータ工学、通信システム工学、集積システム工学	
	統合生命科学	遺伝機構学、多細胞体構築学、細胞全能性発現学、応用生物機構学、環境応答制御学	
 生命科学研究科 平成11年4月開設	高次生命科学	認知情報学、体制統御学、高次応答制御学、高次生体統御学、生命科学教育学・遺伝学、システム生物学、ゲノム生物学	
	放射線生物研究センター（平成30年4月開設）、生命情報解析教育センター（令和5年4月開設）		
 総合生存学館 平成25年4月開設	総合生存学	総合生存学	
 地球環境学堂・地球環境学会 平成14年4月開設	学 堂	地球益学廊	地球環境政策論、△環境経済論、地球益経済論、△持続的農村開発論、△水環境保全論、△歴史地理文化論、環境マーケティング論、△美術史・文化論、環境教育論
		地球親和技術学廊	環境調和型産業論、社会基盤親和技術論、人間環境設計論、△生物多様性保全論、△景観生態保全論、△元素材料化学論
		資源循環学廊	地域資源計画論、△都市基盤デザイン論、△大気環境化学論、△生産環境微生物学論、△陸域生態系管理論、統合環境学設計論
	学 舎	地球環境学	
		環境マネジメント	
三才学林（平成14年4月開設）			
 公共政策連携研究部・公共政策教育部 平成18年4月開設	研究部	公共政策第一、公共政策第二	
	教育部	公共政策	
 経営管理研究部・経営管理教育部 平成18年4月開設	研究部	経営管理、都市・地域マネジメント客員、国土マネジメント客員、プロジェクトファイナンス客員、◎企業金融と資本市場（みずほ証券）、◎道路アセットマネジメント政策（NEXCO西日本・阪神高速）、◎光亜興産官民協働まちづくり実践（川村光壽）、◎港湾物流高度化、◎京都ものづくりバレー構想の研究と推進（JOHNAN）、◎管理会計（経営会計専門家協会）、◎グローバル社会起業、◎シスメックス企業と投資家、◎国際メガ・インフラマネジメント政策（八千代エンジニアリング）、◎インテグレイテッド・ホスピタリティ（グリーンハウス）、◎ブルーパス・コンサルティング・バリュエーションとファイナンシャル・ソリューション、◎プライベート・エクイティ（ポラリス・キャピタル・グループ）、◎アート・コミュニケーションデザインと組織経営、◎SHIFT（DAAE）、◎ブレインヘルスケア・ビジネスエコシステム、◎哲学的企業家研究	
		教育部	経営科学 経営管理
	経営研究センター（平成21年7月開設）		

(注)改組により、学年進行完了後廃止される旧専攻等については、記載していない

附置研究所

★印は国際共同利用・共同研究拠点、※印は共同利用・共同研究拠点、☆印は大部門、□印は研究系、◇印は客員研究部門、◎印は寄附研究部門

研究所	設置目的
	研究部門等
	附属施設等
 化学研究所★ 大正15年10月開設	化学に関する特殊事項の学理及びその応用の研究を行う。 □物質創製化学、□材料機能化学、□生体機能化学、□環境物質化学、□複合基盤化学 先端ビームナノ科学センター（平成16年4月開設）、元素科学国際研究センター（平成15年4月開設）、 バイオインフォマティクスセンター（平成13年4月開設）
 人文科学研究所※ 昭和14年8月開設	世界文化に関する人文科学の総合研究を行う。 ☆文化研究創成、☆文化生成、☆文化表象、☆文化構成、☆文化連関 東アジア人文情報学研究センター（昭和40年4月開設）、現代中国研究センター（平成19年4月開設）
 医生物学研究所※ 平成28年10月開設	ウイルス学及び再生医学に関する学理及びその応用の研究を行う。 ☆ウイルス感染、☆再生組織構築、☆生命システム 感染症モデル研究センター（平成14年4月開設）、再生実験動物施設（昭和56年4月開設）、 ヒトES細胞研究センター（令和2年4月開設）
 エネルギー理工学研究所※ 平成8年5月開設	エネルギーの生成、変換及び利用の高度化に関する研究を行う。 ☆エネルギー生成、☆エネルギー機能変換、☆エネルギー利用過程 エネルギー複合機構研究センター（平成8年5月開設）、カーボンネガティブ・エネルギー研究センター（令和4年8月開設）、 ◎環境微生物学（竹中工務店、東洋ガラス）
 生存圏研究所※ 平成16年4月開設	生存圏科学に関する研究及び人材育成を行う。 □生存圏診断統御、□生存圏開発創成 生存圏未来開拓研究センター（令和4年4月開設）
 防災研究所※ 昭和26年4月開設	災害に関する学理の研究及び防災に関する総合研究を行う。 ☆社会防災、☆地震防災、☆地盤災害、☆気象・水象災害、◎気象水文リスク情報（日本気象協会）、 ◎地震リスク評価高度化（阪神コンサルタンツ） 巨大災害研究センター（平成8年5月開設）、地震災害研究センター（令和4年8月開設）、 火山活動研究センター（平成8年5月開設）、斜面未災害研究センター（令和5年4月開設）、 流域災害研究センター（平成8年5月開設）、水資源環境研究センター（昭和53年4月開設）
 基礎物理学研究所※ 昭和28年8月開設	素粒子論その他の基礎物理学に関する研究を行う。 ☆物理学基礎、☆物質構造、☆極限構造
 経済研究所※ 昭和37年4月開設	産業経済に関する総合研究を行う。 ☆経済情報解析、☆経済制度、☆経済戦略、☆ファイナンス、☆現代経済分析 複雑系経済研究センター（平成16年4月開設）
 数理解析研究所★ 昭和38年4月開設	数理解析に関する総合研究を行う。 ☆基礎数理、☆無限解析、☆応用数理 計算機構研究施設（昭和46年4月開設）
 複合原子力科学研究所※ 昭和38年4月開設	原子炉による実験及びこれに関連する研究を行う。 ☆原子力基礎工学、☆粒子線基礎物性、☆放射線生命科学 粒子線腫瘍学研究センター（昭和51年5月開設）、安全原子力システム研究センター（昭和50年4月開設）
 東南アジア地域研究研究所※ 平成29年1月開設	東南アジアを主とした世界諸地域に関する総合研究を行う。 ☆相関地域、☆政治経済共生、☆社会共生、☆環境共生、☆グローバル生存基盤、◇地域研究国外、◇地域研究国内
 iPS細胞研究所 平成22年4月開設	iPS細胞に関する学理及びその応用の研究を行う。 ☆未来生命科学開拓、☆増殖分化機構、☆臨床応用、☆基盤技術、◎上廣倫理



桂キャンパス(Aクラスター)






宇治キャンパス(防災研究所 鋼構造実大試験架構)

教育研究施設等





全国共同利用施設

※印は共同利用・共同研究拠点、☆印は大部門、◇印は客員研究部門、◎印は寄附研究部門








全国共同利用施設		設置目的
		研究部門等
		附属施設等
	学術情報メディアセンター ※ 平成14年4月開設	情報基盤及び情報メディアの高度利用に関する研究開発を行い、教育研究等の高度化を支援する。また、情報環境機構の行う業務を支援する。 ☆ネットワーク、☆コンピューティング、☆社会情報解析基盤、☆デジタルコンテンツ、☆連携
	生態学研究センター ※ 平成3年4月開設	生態学・生物多様性科学に関する研究を行う。 ☆生態学
	野生動物研究センター ※ 平成20年4月開設	野生動物に関する教育研究を行い、地球社会の調和ある共存に貢献する。 ☆陸園保全、☆水園保全、☆動物福祉、☆分子保全、◎福祉長寿 幸島観察所(昭和44年6月開設)、屋久島観察所(昭和58年4月開設)、熊本サンクチュアリ(平成23年8月開設)





学内共同教育研究施設

※印は教育関係共同利用拠点、◎印は寄附研究部門

学内共同教育研究施設		設置目的
		研究部門等
		附属施設等
	総合博物館 平成9年4月開設	学術標本資料の収集・収蔵と調査研究を主たる活動とし、資料の教育研究への活用をはかるとともに、展覧会等を通じて本学の研究成果の公開に貢献する。また、教育研究の過程で生産される各種資料を体系的に収集・保存し、運用する研究資源アーカイブ事業を行う。
	フィールド科学教育研究センター 平成15年4月開設	森林生態系、里域生態系及び海洋生態系をつなぐ現場教育とフィールド研究を行うとともに、学内及び国内外からの共同利用に供する。 研究推進、森林生態系、里域生態系、海洋生態系 ※芦生研究林(大正10年4月開設)、※北海道研究林標茶区(昭和24年4月開設)、 ※北海道研究林白糠区(昭和25年6月開設)、和歌山研究林(大正15年1月開設)、※上賀茂試験地(大正15年9月開設)、 徳山試験地(昭和6年3月開設)、北白川試験地(大正13年5月開設)、紀伊大島実験所(昭和15年4月開設)、 ※舞鶴水産実験所(昭和47年5月開設)、※瀬戸臨海実験所(大正11年7月開設)
	福井謙一記念研究センター 平成14年4月開設	ノーベル化学賞を受賞された福井謙一博士の研究理念を継承し、基礎化学及び関連する科学の諸分野に関する研究を進展させ、学術研究の向上を図る。 総合研究、理論研究
	ヒト行動進化研究センター 令和4年4月開設	サル類を対象としてヒトの行動特性やその進化の生物学的基盤を明らかにするための実験的研究を行う。 人類進化モデル研究センター(令和4年4月開設)、国際共同先端研究センター(令和4年4月開設)


教育院等

学内組織		設置目的
		附属施設等
	国際高等教育院 平成25年4月開設	教養・共通教育を実施するとともに、教養・共通教育全体の企画及び運営を総括する。 国際学術言語教育センター(平成26年4月開設)、日本語・日本文化教育センター(平成28年4月開設)、 データ科学イノベーション教育研究センター(平成29年4月開設)
	大学院教育支援機構 令和3年10月開設	研究科等が担う研究者養成及び高度専門職業人養成の機能に関し、充実強化を図るための必要な支援を行う。
	学生総合支援機構 令和4年4月開設	学生相談・学生支援の全学機構として、学生等の修学上・適応上及び進路上的の個人相談の受付・対応、障害のある学生等の修学上等の支援、学生等の修学上の問題に係る教員からの相談の対応等を行う。
	環境安全保健機構 平成17年4月開設	環境安全保健業務及び低温物質管理業務を推進する全学組織として、学生総合支援機構とも連携を図り、環境安全保健活動を総合的かつ効果的に行う。
	情報環境機構 平成17年4月開設	全学の情報基盤の充実及びこれに基づく情報環境の整備等を推進するための全学組織として、全学の情報基盤に関する企画、整備、管理及び運用、多様な情報サービスの提供及びそのための高度かつ安全な情報環境の構築及び提供及び高度な情報技術、情報活用能力を備えた人材の育成を行う。 IT企画室(平成23年4月開設)
	図書館機構 平成17年4月開設	附属図書館及び部局の図書館等が連携して、図書、学術情報データベース等を収集、運用、整備するとともに、学外の学術情報資源の効率的な利用サービスの体制を整備することにより、学生、研究者等の学術情報の活用を促進する。
	産官学連携本部 平成19年7月開設	産官学連携の推進及び支援に係る企画立案等を行うとともに、産業界又は官公庁との共同研究及び受託研究の推進及び支援、産官学における国際的連携又は地域社会連携の推進及び支援、知的財産権の取得、管理、活用等、ベンチャーの育成、起業支援等その他本学の産官学連携活動の推進及び支援に関する業務を総括する。

学内組織	設置目的 附属施設等
 オープンイノベーション機構 令和元年7月開設	産学連携の推進を促すため、全学の研究テーマをベースに「組織」対「組織」の大型産学連携プロジェクトの企画・提案と当該プロジェクトの集中マネジメントを行う。産官学連携本部と連携しつつも、持続的・自律的経営が可能なプロフィットセンターとして、共同研究の展開への集中的マネジメントの実施に基づき、産業界との協働によるイノベーション創発活動の成果を社会に還元する。
 国際戦略本部 平成28年4月開設	国際協働事業に係る企画及び調整を行うとともに、国際交流に係る支援、海外拠点の設置・運営、その他国際化の推進に関する業務を行う。
 人と社会の未来研究院 令和4年4月開設	人文・社会科学系の学術的プロジェクトの推進により文理融合を含む異分野間交流を促進し、既存の知を越えた人文・社会科学の「未来形の発信」と新学術領域の創成を図るための必要な支援を行う。
 大学文書館 平成12年11月開設	公文書等の管理に関する法律（平成21年法律第66号）に基づく特定歴史公文書等その他京都大学の歴史に係る各種の資料の収集、整理、保存、閲覧及び調査研究を行う。

高等研究院

○印は連携研究拠点、◎印は寄附研究部門

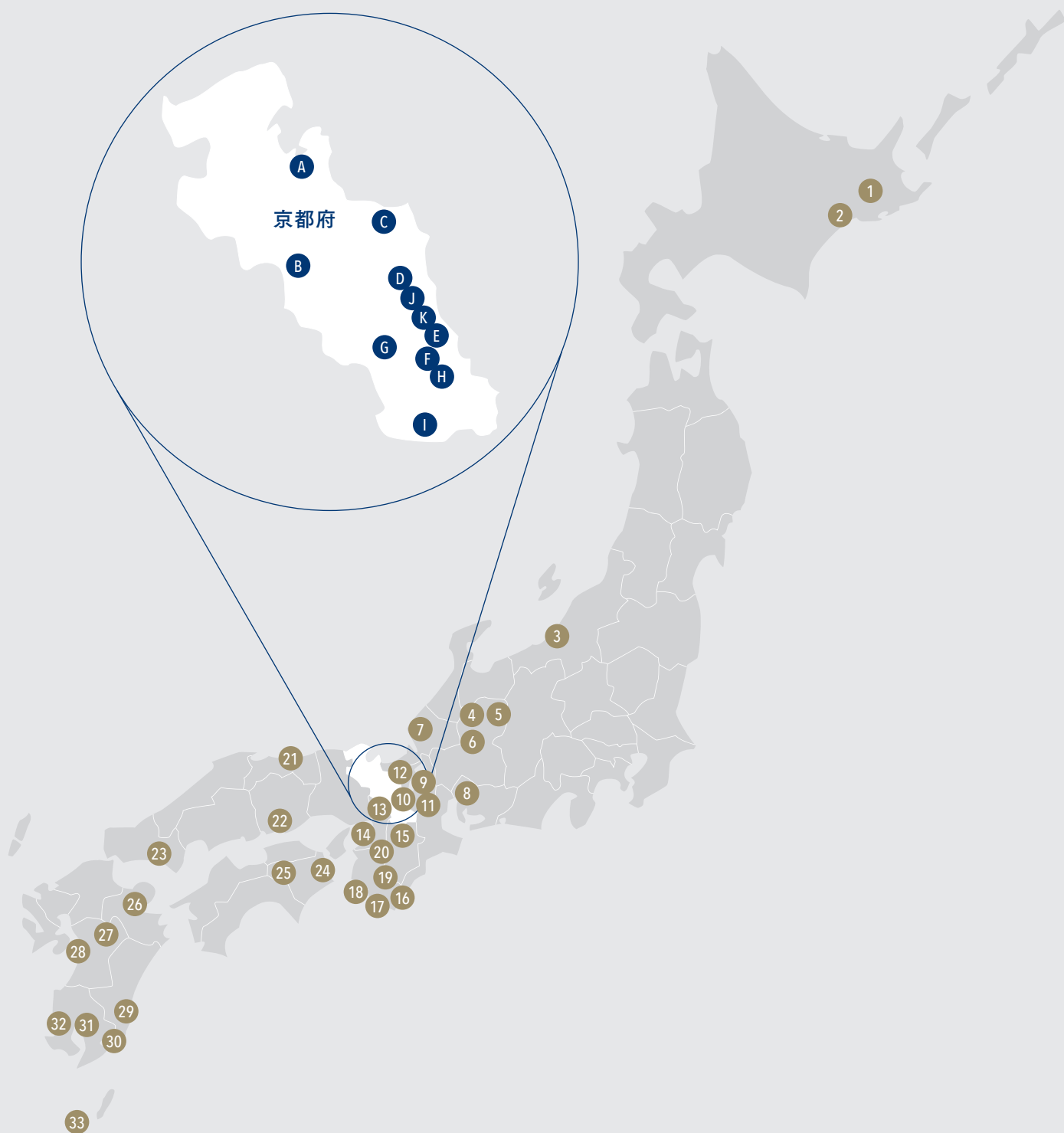
学内組織	設置目的
 高等研究院 平成28年4月開設	<p>本学の特色及び強みを活かして国際的な最先端研究を展開することにより学術の発展及び人材育成を図るとともに、その研究による成果を社会に還元する。</p> <p>研究拠点</p> <p>物質—細胞統合システム拠点（平成19年10月開設、◎世界トップレベル研究拠点プログラム）を継承し、物質科学と細胞科学を統合した新たな学問領域の創出を目指す。</p> <p>ヒト生物学高等研究拠点（平成30年10月開設） 「世界トップレベル研究拠点プログラム」として、多分野を融合した学際的方法論を用いた先進的ヒト生物学の確立を目指す。</p> <p>連携研究拠点等</p> <p>○理研—京大科学技術ハブ（平成30年3月開設）、○豊田理研—京大連携拠点（令和4年4月開設）、 ◎医学物理・医工計測グローバル拠点（平成30年1月開設）</p>

その他の学内組織

学内組織	設置目的 附属施設等
 アフリカ地域研究資料センター 平成8年4月開設	アフリカにおける学術研究および交流の推進、国際学術誌AfricanStudyMonographsの編集刊行、公開研究会、公開シンポジウム、市民公開講座の開催、国際学術協定等に基づく研究交流の推進、社会貢献プロジェクトの推進、関連研究機関との情報交換を行う。
 白眉センター 平成21年9月開設	次世代研究者育成支援事業の企画運営を行うとともに、同事業により雇用する教員の受入部局との協議調整を行う。その他、次世代研究者育成支援事業の円滑な実施に関し必要な事項を処理する。
 学際融合教育 研究推進センター 平成22年3月開設	<p>学際的な教育研究を推進するための支援を行う。</p> <p>ナノテクノロジーハブ拠点（平成22年11月開設）、こころの科学ユニット（平成22年12月開設）、地域連携教育研究推進ユニット（平成23年4月開設）、生理化学研究ユニット（平成23年4月開設）、政策のための科学ユニット（平成24年1月開設）、触媒・電池元素戦略研究拠点ユニット（平成24年6月開設）、構造材料元素戦略研究拠点ユニット（平成24年6月開設）、アジア研究教育ユニット（平成24年12月開設）、高度情報教育基盤ユニット（平成25年1月開設）、宇宙総合学研究ユニット（平成25年4月開設）、社会科学統合研究教育ユニット（平成26年4月開設）、活力ある生涯のためのLast5Xイノベーションユニット（平成26年10月開設）、次世代研究創成ユニット（平成27年2月開設）、スマートエネルギーマネジメント研究ユニット（平成28年4月開設）、ヒマラヤ研究ユニット（平成28年4月開設）、レジリエンス実践ユニット（平成28年4月開設）、スーパーグローバルコース数学系ユニット（平成28年4月開設）、スーパーグローバルコース化学系ユニット（平成28年4月開設）、スーパーグローバルコース医学生命系ユニット（平成28年4月開設）、スーパーグローバルコース人文社会科学系ユニット（平成28年4月開設）、アフリカ学際研究拠点推進ユニット（平成28年7月開設）、超高齢社会デザイン価値創造ユニット（平成28年12月開設）、熱帯林保全と社会的持続性研究推進ユニット（平成28年12月開設）、アカデミックデータ・イノベーションユニット（平成29年11月開設）、人工知能研究ユニット（平成29年11月開設）、水・エネルギー・災害教育研究ユネスコチャータユニット（平成30年4月開設）、光量子センシング研究拠点（令和元年11月開設）、非線形・非平衡プラズマ科学研究ユニット（令和2年2月開設）、バイオ・高分子ビッグデータによる地球と人類に優しいソフト材料の創出拠点（令和4年4月開設）、重水素学研究拠点ユニット（令和5年4月開設）</p>
 研究連携基盤 平成27年4月開設	研究所等の連携の強化及び支援、本学における学際的研究の推進及び支援、研究所等における研究者育成の推進及び支援に関する業務を行う。
 学術研究展開センター 令和4年10月開設	本学の研究力強化を目的として、研究者の研究活動の推進支援や大学運営支援を担う。具体的には、大学の研究力分析、学内ファンドの企画・運営、競争的外部資金の獲得支援、研究プロジェクトのマネジメント支援、産官学連携に向けた研究推進支援、研究の国際化支援、プロボストオフィスとの連携による大学運営支援などを行う。
 高大接続・入試センター 平成28年4月開設	本学の教育・入試制度・魅力等の発信を行うとともに、高等学校教育からの円滑な学びの移行を支援する。また、より一層効果的な入学者選抜のあり方等に係る調査研究等を行う。
 男女共同参画推進本部 平成26年4月開設	男女共同参画の推進に係る諸施策を企画立案及び実施、男女共同参画に係る調査及び分析その他男女共同参画の推進及び支援に関する業務を行う。

研究所・附属研究施設等位置図

研究所・附属研究施設等位置図



芦生研究林(フ)



流域災害研究センター 宇治川オープンラボラトリー (防)



農場(農)

京都市内

- A 舞鶴水産実験所(フ)
- B 牧場(農)
- C 芦生研究林(フ)
- D 上賀茂試験地(フ)
- E 花山天文台(理)
- F 流域災害研究センター宇治川オープンラボラトリー(防)
- G 栽培植物起原学研究室分室(農)
- H 宇治構内
- I 農場(農)
- J 北白川試験地(フ)
- K 植物園(理)

その他の地域

- 1 北海道研究林[標茶区](フ)
- 2 北海道研究林[白糖区](フ)
- 3 流域災害研究センター大湊波浪観測所(防)
- 4 地震災害研究センター上宝観測所(防)
- 5 流域災害研究センター穂高砂防観測所(防)
- 6 飛騨天文台(理)
- 7 地震災害研究センター北陸観測所(防)
- 8 ヒト行動進化研究センター
- 9 生態学研究センター
- 10 流域圏総合環境質研究センター(工)
- 11 信楽MU観測所(生)
- 12 地震災害研究センター逢坂山観測所(防)
- 13 地震災害研究センター阿武山観測所(防)
- 14 複合原子力科学研究所
- 15 地震災害研究センター屯鶴峯観測所(防)
- 16 紀伊大島実験所(フ)
- 17 流域災害研究センター潮岬風力実験所(防)
- 18 瀬戸臨海実験所(フ)
- 19 流域災害研究センター白浜海象観測所(防)
- 20 和歌山研究林(フ)
- 21 地震災害研究センター鳥取観測所(防)
- 22 岡山天文台(理)
- 23 徳山試験地(フ)
- 24 地震災害研究センター徳島観測所(防)
- 25 斜面未災学研究センター徳島地すべり観測所(防)
- 26 地球熱学研究施設本部(理)
- 27 地球熱学研究施設火山研究センター(理)
- 28 熊本サンクチュアリ(野)
- 29 地震災害研究センター宮崎観測所(防)
- 30 幸島観察所(野)
- 31 火山活動研究センター桜島火山観測所(防)
- 32 生活・森林圏シミュレーションフィールド(生)
- 33 屋久島観察所(野)



信楽MU観測所(生)



瀬戸臨海実験所(フ)白浜水族館



岡山天文台(理)



地球熱学研究施設(理)

(理) … 理学研究科	(工) … 工学研究科
(農) … 農学研究科	(生) … 生存圏研究所
(防) … 防災研究所	(フ) … フィールド科学教育研究センター
(野) … 野生動物研究センター	



チューリヒ大学他スイス関係者とのパネルディスカッション

大学間学術交流協定校 **200**

京都大学は、国際競争力のある研究の推進と、世界に通用する国際力豊かな人材を育成するために、世界各国の主要大学・機関と学術交流協定(MOU)の締結を推進しています。この協定締結により、共同研究、研究者・学生交流、学術情報交換等を促進しています。

戦略的パートナーシップ校 **5**

大学間学術交流協定を締結している世界に卓越した大学のうち、各部署での活発な研究交流を分野横断的に展開させるとともに、新たな学術分野での共同研究や人材の流動性を促進するため、学長(執行部)レベルでの合意に基づいて連携を強化していく大学等を「戦略的パートナーシップ校」と認定しています。



On-site Laboratory www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/operation/designation/onsitelab

11

On-site Laboratoryは、海外の大学や研究機関等と共同で設置する現地運営型研究室です。指定国立大学法人構想において取組の一つに掲げて2018年9月に制度化し、学内公募・審査を経て認定しました。以下の11件それぞれの活動状況は、上記サイトにてご紹介しています。

部局名	On-site Laboratory	国・地域(地名)	認定年
医学研究科	京都大学サンディエゴ研究施設	アメリカ合衆国(サンディエゴ)	2018
医学研究科	IFOM-KU国際共同ラボ	日本(京都) / イタリア(ミラノ)	2018
工学研究科、地球環境学堂	京都大学-清華大学環境技術共同研究・教育センター	中華人民共和国(深圳)	2018
地球環境学堂	Mahidol環境学教育・研究拠点	タイ王国(バンコク)	2018
高等研究院	スマート材料研究センター	タイ王国(ラオーン)	2018
化学研究所	京都大学上海ラボ	中華人民共和国(上海)	2019
iPS細胞研究所	グラッドストーン研究所iPS細胞研究拠点	アメリカ合衆国(サンフランシスコ)	2019
高等研究院	統合バイオシステムセンター	台湾(台北)	2019
高等研究院	量子ナノ医療研究センター	日本(京都) / アメリカ合衆国(ロサンゼルス)	2019
高等研究院	グリーン多孔性材料ラボラトリ	シンガポール共和国(シンガポール)	2020
高等研究院	データ・材料科学統合センター	ニュージーランド(ウェリントン)	2021



全学海外拠点 www.oc.kyoto-u.ac.jp/overseas-centers/

3

京都大学では全学的な海外拠点を整備しています。欧州拠点、ASEAN拠点、北米拠点に事務所を設置し、各地域におけるハブ機能を有するとともに、地域の特性を活かした独自性のある活動を展開しています。

海外拠点名	国(地名)	設置年
京都大学欧州拠点	ドイツ連邦共和国(ハイデルベルク)	2014
京都大学ASEAN拠点	タイ王国(バンコク)	2014
京都大学北米拠点	アメリカ合衆国(ワシントンD.C.)	2018
(京都大学サンディエゴリエゾンオフィス)	アメリカ合衆国(サンディエゴ)	2017

大学間国際ネットワーク www.oc.kyoto-u.ac.jp/network/

3

京都大学は、3つの国際ネットワーク(AUN(アセアン大学ネットワーク)およびASEAN+3UNet(アセアン諸国+日中韓3カ国 大学間ネットワーク)、HeKKSaGOn(日独6大学アライアンス)、USR Network(ユニバーシティ・ソーシャル・レスポンシビリティ・ネットワーク))に加盟し、学長会議や各種シンポジウム、ワークショップ、学生サマースクール等、様々な事業に参加し、本学の研究者や学生を派遣しています。

大学間学術交流協定校 (令和5年4月1日現在)

国・地域	大学名	締結年月日
アジア(16)		
インド	バラナシ・ヒンドゥー大学	2015.8.7
	インド工科大学ムンバイ校	2015.12.25
	インド工科大学グワハチ校	2016.1.14
	インド工科大学カーンプル校	2016.10.27
	インド科学大学院大学	2017.5.31
	ノースイースタンヒル大学	2018.9.10
インドネシア共和国	バンドン工科大学	2006.1.20
	インドネシア大学	2008.4.11
	ガジャマダ大学	2012.12.7
	IPB 大学	2013.8.28
	ハサヌディン大学	2014.4.28
	リアウ大学	2020.1.18
	国立研究革新庁(BRIN)	2022.8.19
シンガポール共和国	シンガポール国立大学	1999.5.15
スリランカ民主主義共和国	ペラデニヤ大学	2020.9.25
タイ王国	カセサート大学	1984.2.28
	チュラロンコン大学	2005.11.23
	タマサート大学	2005.11.23
	マヒドン大学	2014.7.22
	チェンマイ大学	2014.9.2
	アジア工科大学	2017.5.31
	タイ国立科学技術開発庁	2018.9.28
大韓民国	慶北大学校	1980.2.7
	ソウル大学校	1991.5.21
	延世大学校	1998.6.26
	高麗大学校	2002.2.19
	韓国科学技術院(KAIST)	2005.5.13
	浦項工科大学(POSTECH)	2007.2.15
	建国大学校	2012.8.7
	梨花女子大学校	2020.5.30
台湾	国立台湾大学*	2005.5.13
	国立清華大学	2006.11.8
	国立成功大学	2019.2.20
	中央研究院	2019.12.18
	国立中興大学	2020.6.10
	中国医薬大学	2022.9.28
中華人民共和国	西北大学	1980.5.31
	武漢大学	1980.10.15
	北京大学	1983.4.1
	清華大学	1998.5.5
	復旦大学	2002.4.25
	浙江大学	2003.11.5
	中国科学技術大学	2005.5.13
	香港科技大学	2005.5.13
	南京大学	2006.5.11
	上海交通大学	2008.1.23
西安交通大学	2008.2.21	
ネパール連邦民主共和国	トリブバン大学	2015.8.4
フィリピン共和国	フィリピン大学	2015.1.21
ブータン王国	ブータン王立大学	2013.8.1
ブルネイ・ダルサラーム国	ブルネイ・ダルサラーム大学	2014.8.18
ベトナム社会主義共和国	ベトナム国家大学ハノイ校	2007.9.13
	フエ大学	2007.9.15
	ハノイ理工科大学	2009.9.18
	ダナン大学	2014.2.17
	ベトナム社会科学学院	2020.7.28
	カントー大学	2023.3.20
マレーシア	マラヤ大学	2008.8.4
	マレーシア工科大学	2016.8.9
	マレーシア国民大学	2017.8.8
ミャンマー連邦共和国	マンダレー工科大学	2013.10.4
	ヤンゴン工科大学	2013.10.4
	ヤンゴン大学	2015.9.22
	イエジン農業大学	2017.7.11

国際連携

国・地域	大学名	締結年月日
ラオス人民民主共和国	ラオス国立大学	2002.5.30
北米(2)		
アメリカ合衆国	ウエイン州立大学	1985.10.7
	スタンフォード大学	1989.11.10
	カリフォルニア大学	1990.3.29
	ニューヨーク大学タンドン工科大学	1990.4.28
	ブラウン大学	1992.4.14
	ジョージワシントン大学	1998.6.10
	タフツ大学	1998.8.25
	イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校	1999.5.19
	ペンシルベニア大学	1999.11.12
	ハワイ大学	2003.11.13
	ミシガン大学	2003.12.5
	ワシントン大学	2011.4.18
	カリフォルニア大学デービス校	2011.12.12
	カリフォルニア大学サンディエゴ校	2014.2.13
	オーリン工科大学	2014.7.10
	ノートルダム大学	2014.7.31
	マサチューセッツ工科大学	2015.1.15
ライス大学	2017.6.30	
フロリダ大学	2019.11.5	
カリフォルニア大学ロサンゼルス校	2021.2.17	
カナダ	トロント大学	1991.9.16
	ケベック州大学学長校長協議会 (18大学・研究所)	1994.3.17
	ウォータールー大学	2003.1.31
	マギル大学	2014.10.11
	ブリティッシュコロンビア大学	2014.11.14
	コンコルディア大学	2014.12.8
中南米(2)		
ブラジル連邦共和国	サンパウロ大学	2014.2.13
メキシコ合衆国	グアダハラ大学	1983.5.10
欧州(NIS 諸国を含む) (18)		
アイルランド	アイルランド国立大学ダブリン校 (ユニバーシティ・カレッジ・ダブリン)	2014.7.4
	トリニティ・カレッジ・ダブリン (ダブリン大学トリニティ・カレッジ)	2014.12.8
イタリア共和国	シエナ大学	1989.11.22
	ボローニャ大学	1995.4.25
	ミラノ工科大学	2014.9.30
	ヴェネツィア大学	2015.5.13
ウクライナ	キーウ工科大学	2013.6.7
	タラスシェフチェンコ記念キーウ国立大学	2014.7.31
英国	サセックス大学	1989.10.5
	オックスフォード大学	1991.12.7
	ケンブリッジ大学	1997.9.3
	ノッティンガム大学	1999.7.8
	エジンバラ大学	2005.10.20
	シェフィールド大学	2006.10.1
	マンチェスター大学	2006.10.30
	ブリストル大学	2011.10.25
	ロンドン大学教育研究所	2011.12.5
	グラスゴー大学	2013.6.13
	キングス・カレッジ・ロンドン	2014.6.23
パーミンガム大学	2015.10.8	
リーズ大学	2016.11.23	
サウサンプトン大学	2017.10.18	
ロンドン大学クイーン・メアリー	2020.9.24	
オーストリア共和国	ウィーン大学*	1993.10.12
オランダ王国	ライデン大学	1997.3.6
	ユトレヒト大学	1997.6.26
	フローニンゲン大学	2013.10.9
	ワーヘニンゲン大学	2018.10.9

国・地域	大学名	締結年月日
スイス連邦	スイス連邦工科大学チューリヒ校	1989.12.18
	ローザンヌ大学	1997.6.30
	チューリヒ大学*	2013.11.21
	スイス連邦工科大学ローザンヌ校(EPFL)	2015.7.1
スウェーデン王国	ウプサラ大学	1997.2.18
	ストックホルム大学	1997.8.5
	スウェーデン王立工科大学(KTH)	2005.10.19
スペイン王国	バルセロナ大学	2014.7.2
	バルセロナ自治大学	2017.1.1
チェコ共和国	カレル大学	1990.6.5
	チェコ科学アカデミー	2021.3.9
ドイツ連邦共和国	ベルリン自由大学	1984.10.30
	ミュンヘン大学	1989.9.1
	ボン大学	1990.6.27
	ハイデルベルグ大学	1990.10.11
	フンボルト大学	1998.12.2
	ミュンヘン工科大学	2006.10.31
	ゲッティンゲン大学	2011.3.27
	カールスルーエ工科大学	2011.7.20
	ケルン大学	2013.6.7
	アーヘン工科大学	2014.9.9
	ベルリン工科大学	2016.12.22
	ハンブルク大学*	2017.6.7
	ドレスデン工科大学	2018.3.27
ドルトムント工科大学	2019.7.1	
ノルウェー王国	ノルウェー科学技術大学	2014.11.14
フィンランド共和国	ヘルシンキ大学	2011.4.18
フランス共和国	パリ・シテ大学	1979.11.2
	ストラスブール大学	1991.1.23
	エコール・ノルマル・シュペリウール	2009.4.10
	フランス国立科学研究センター (CNRS)	2013.10.6
	ボルドー大学*	2014.5.5
	アグロポリス・インターナショナル	2014.12.22
	フランス国立社会科学高等研究院 (EHESS)	2015.5.28
	パリ国立高等鉱業学校	2016.3.16
	フランス国立東洋言語文化研究所	2016.11.28
	エコール・ノルマル・シュペリウール パリ・サクレー	2017.5.18
ベルギー王国	パリ・サクレー大学	2018.1.31
	グルノーブル・アルプ大学	2020.9.14
	ルーバン・カトリック大学	1997.11.19
	ルーヴェン・カトリック大学	2020.7.16

国・地域	大学名	締結年月日
ポーランド共和国	ヤギェウォ大学	2013.11.12
ルクセンブルク大公国	ルクセンブルク大学	2016.1.23
ロシア連邦	ロモノーソフ記念モスクワ国立大学	1987.10.26
	サンクトペテルブルク大学	2013.6.7
大洋州(2)		
オーストラリア連邦	クイーンズランド大学	1981.12.22
	メルボルン大学	1997.9.17
ニュージーランド	ニューサウスウェールズ大学	1998.6.22
	シドニー大学	1999.5.31
オーストラリア国立大学	2008.2.15	
オークランド大学	1997.4.10	
中東(3)		
イスラエル国	テルアビブ大学	1999.4.23
サウジアラビア王国	キング・アブドゥルアジーズ大学	2014.9.17
トルコ共和国	コッチ大学	2011.9.7
アフリカ(12)		
ウガンダ共和国	マケレレ大学	2015.12.16
エジプト・アラブ共和国	エジプト科学研究技術アカデミー	2010.12.23
	エジプト日本科学技術大学	2012.5.27
エチオピア連邦民主共和国	アディスアベバ大学	2017.9.20
ガーナ共和国	ガーナ大学	2017.3.3
ギニア共和国	コナクリ大学	2013.6.17
コンゴ民主共和国	キンシャサ大学	2015.11.27
スーダン共和国	ハルツーム大学	2001.6.7
ボツワナ共和国	ボツワナ大学	2012.7.20
モロッコ王国	ムハンマド5世大学	2016.6.16
タンザニア連合共和国	ソコイネ農業大学	2019.5.20
ザンビア共和国	ザンビア大学	2019.6.18
マダガスカル共和国	アンタナナリボ大学	2019.8.21
その他(11)		
	アセアン大学連合(AUN)	2009.12.18
	アセアン+3大学連合(ASEAN+3UNet)	2012.11.1
	国際協力機構(JICA)	2010.11.1
	国際核融合エネルギー機構(ITER)	2014.8.4
	国際林業研究センター	2016.4.5
	国際連合食糧農業機関(FAO)	2016.6.7
	国際連合大学	2005.7.29
	国連開発計画(UNDP)	2016.4.12
	国際連合教育科学文化機関(UNESCO)	2012.11.6
	国際連合教育科学文化機関(UNESCO)	2018.2.13
	ユネスコチェア	
	経済協力開発機構(OECD)	2019.11.29
計(55カ国・地域)	182大学3大学群15機関	

※戦略的パートナーシップ校

部局間学術交流協定数 (令和5年4月1日現在)

部局等名	協定締結数	部局等名	協定締結数	部局等名	協定締結数
文学研究科・文学部	11	情報学研究科	15	ヒト行動進化研究センター	16
教育学研究科・教育学部	7	総合生存学館	9	東南アジア地域研究研究所	58
法学研究科・法学部	11	地球環境学堂	27	iPS細胞研究所	1
経済学研究科・経済学部	18	経営管理研究部・経営管理教育部	31	学術情報メディアセンター	1
理学研究科・理学部	8	化学研究所	65	生態学研究センター	4
医学研究科・医学部	20	人文科学研究所	14	野生動物研究センター	9
医学部附属病院	6	医生物学研究所	3	総合博物館	8
薬学研究科・薬学部	3	エネルギー理工学研究所	34	フィールド科学教育研究センター	2
工学研究科・工学部	38	生存圏研究所	21	人と社会の未来研究院	0
農学研究科・農学部	62	防災研究所	68	アフリカ地域研究資料センター	6
人間・環境学研究科・総合人間学部	6	基礎物理学研究所	18	国際高等教育院	2
エネルギー科学研究科	8	経済研究所	8	産官学連携本部	3
生命科学研究科	2	数理解析研究所	8	高等研究院	16
アジア・アフリカ地域研究研究科	26	複合原子力科学研究所	50		

産官学連携 — 未来創造と社会課題の解決に貢献 —

世界に開かれた大学として、社会に、そして地球社会の調和ある共存に貢献するという本学の基本理念のもと、多様な研究から生まれた卓越した「知」を社会に伝え、社会が抱える多元的かつ複雑な諸問題の解決に取り組むため、京都大学は産官学連携活動を推進しています。

産官学連携本部 www.saci.kyoto-u.ac.jp/

未来創造と社会課題解決を目指して、京都大学における産官学連携事業活動の総合的マネジメントを推進しています。また、京大グループ会社や学内連携組織とも連携して活動を行っています。

オープンイノベーション機構 www.oi.kyoto-u.ac.jp/

全学の研究テーマをベースに「組織」対「組織」の本格的な大型共同研究を企画し実施する研究拠点です。産官学連携本部、京大グループ会社と互いに連携し、共同研究を集中的にマネジメントすることにより、産業界との協働によるイノベーション創発活動の成果を社会に還元します。

「京大モデル」の構築

京都大学では、本学の理念・経営方針の下、産官学連携本部と子会社が有機的に連携し、大型事業、新事業の創出を目指す「京大モデル」を構築しています。「京大モデル」では、京都大学において創出された「知」を社会につなげ、「価値」の最大化、「収益」の還元を行い、教育研究活動を活性化させます。また、オープンイノベーション機構がプロジェクトの実行を担うことにより「京大モデル」の実効性を高めます。



取組例：北米に設置されたOn-site Laboratory「京都大学サンディエゴ研究施設」を中心として、医学・生命領域の先端的な医薬品シーズ等を産業界と連携させ、研究成果の社会実装を支援することを目的とした北米法人CAMPHOR TREE, LLCを設立。

知的財産の活用

研究成果の実用化を促進するため、発明届出時の段階から学内外の関係組織と連携し、知財支援等の活動を推進しています。

令和4年度 知的財産活用件数 **312** 収入 **1,286,697**千円

ベンチャー支援 — 研究成果の社会還元を促進 —

研究成果に基づき得られた特許の利用促進や学内シーズに基づくベンチャー支援を通じて研究成果の社会還元を促進することで、社会変革を促すイノベーションに貢献します。

京大発ベンチャー創出数 **267**社(令和4年10月末時点累計)

地域との連携

京都大学では、京都府、京都市をはじめとした地域・機関等と連携協定を締結し、教育・研究・環境保全等様々な分野において相互に協力して、地域社会の発展と人材育成に寄与する取組を進めています。



京都大学の学術資源を活用し、京都をはじめとする地域の文化、産業等の発展と課題解決に資する社会連携を推進しています。また、フォーラム、講演会、隔地の施設公開などの社会連携イベントを通じて、社会人等の生涯学習機会を拡充しています。

公開講座・講演会・シンポジウム等

京都大学春秋講義

学術研究活動の中で培われてきた知的資源について広く学内外の人々と共有を図るため、1988年秋から開講している公開講座。年に2回、春と秋に開催。

京大の知

全国各地を巡りて京都大学の研究成果を発信することを目的とする連続講演会。毎回定められたテーマに沿って、京都大学の教員が講演。

京都大学丸の内セミナー

各研究所・センターで行っている最新研究成果の発信。首都圏在住の社会人を対象とした「大人のための高度な教養講座」として、東京丸の内を平日夕刻から実施。

京都大学未来フォーラム

京都大学で過ごした学生時代の経験を活かして様々な分野で活躍する卒業生が、大学生の皆様をはじめ、各世代の皆様にも素晴らしい未来を志向するヒントとなるようなメッセージを発信。

京都大学附置研究所・センターシンポジウム

毎年1回、主要都市にて開催。特に、次世代、次次世代の中心となる中学・高校生、先生などの参加を期待。

京都大学—稲盛財団合同京都賞シンポジウム

京都大学の主催、稲盛財団の共催により、日本が世界に誇る国際賞である京都賞(稲盛財団主催)の分野を対象に、最先端あるいは現在注目される研究者等を迎えて開催。



春秋講義(秋季)



春秋講義(春季)



附置研究所・センターシンポジウム



京都賞シンポジウム

京都大学の研究・教育を知る

京大ウィークス

北海道から九州まで全国に数多くある教育研究施設における公開講座、講演会、施設公開等を一定期間に集中して実施しています。

京都大学アカデミックデイ

100名以上の研究者が一堂に会し、多くの方と直接対話し研究活動をわかりやすく説明します。市民や研究者、文系、理系を問わず、誰もが学問の楽しさ・魅力に気付くことができる「対話」の場となる企画です。

上記のほか、京都大学では、京都大学総合博物館、京都大学大学文書館歴史展示室、京都大学白浜水族館などでの展示や、SDGs イベント、クロックタワーコンサートなど、一般の方も参加可能な各種プログラムを多数実施しています。ぜひご参加ください。 www.kyoto-u.ac.jp/ja/event/all



京都大学同窓会・京都大学基金

京都大学同窓会 hp.alumni.kyoto-u.ac.jp/

会員相互の交流と親睦を図るとともに、京都大学と共に発展することを目的としています。母校に帰っていただき楽しく過ごしていただくホームカミングデイの開催のほか、国内外の地域同窓会では、講演会や懇親会を開催し、交流を深めています。

京都大学基金 www.kikin.kyoto-u.ac.jp

卒業生をはじめ、卒業生のご家族、企業・団体等の皆様からのご寄付に支えられ、修学支援、留学生への奨学金、若手研究者の支援などに活用しています。各種基金の目的と成果、新規寄付募集等をぜひご覧ください。

大型採択事業等 (令和5年5月1日現在)

世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)

拠点名	拠点長	開始年度
物質-細胞統合システム拠点(iCeMS)	高等研究院教授 上杉 志成	平成19年度
ヒト生物学高等研究拠点(ASHBi)	高等研究院教授 斎藤 通紀	平成30年度

科学技術人材育成費補助金

事業名	課題名	申請部局	代表者	開始年度
卓越研究員事業	卓越研究員事業	研究推進部	総長 湊 長博	平成28年度
世界で活躍できる研究者戦略育成事業	世界視力を備えた次世代トップ研究者育成プログラム(L-INSIGHT)	次世代研究創成ユニット	総長 湊 長博	令和元年度

スーパーグローバル大学等事業

取組名称	部局名	事業推進責任者	開始年度
京都大学ジャパンゲートウェイ構想	国際・共通教育推進部	教育担当理事 國府 寛司	平成26年度

大学の世界展開力強化事業

プログラム名称	取組学部・研究科等	事業推進責任者	開始年度
アフリカにおけるSDGsに向けた高度イノベーション人材育成のための国際連携教育プログラム	文学研究科、教育学研究科、工学研究科、農学研究科、エネルギー科学研究科、アジア・アフリカ地域研究研究科、地球環境学堂、防災研究所、ヒト行動進化研究センター、東南アジア地域研究研究所、野生動物研究センター、アフリカ地域研究資料センター	アジア・アフリカ地域研究研究科教授 高橋 基樹	令和2年度

卓越大学院プログラム

取組名称	プログラムコーディネーター	開始年度
先端光・電子デバイス創成学	工学研究科教授 木本 恒暢	平成30年度
メディカルイノベーション大学院プログラム	医学研究科教授 渡邊 大	令和元年度
社会を駆動するプラットフォーム学卓越大学院プログラム	情報学研究科教授 原田 博司	令和2年度

医療データ人材育成拠点形成事業

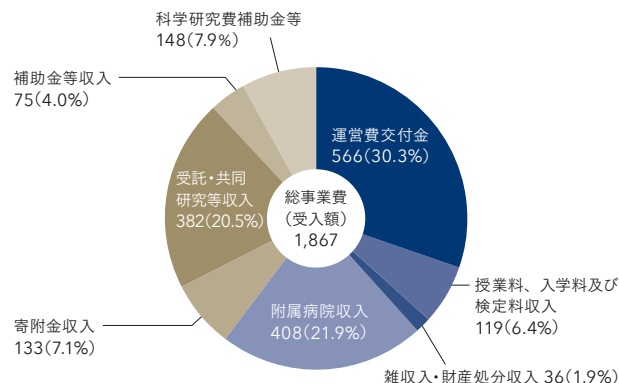
取組名称	部局名	事業責任者	開始年度
関西広域医療データ人材教育拠点形成事業	医学研究科	医学研究科長 伊佐 正	令和元年度

財務状況

令和4事業年度 総事業費(受入額) (単位:億円)

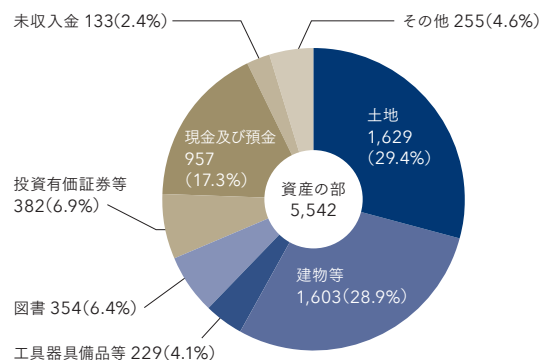
	金額	構成比
総事業費(受入額)		
運営費交付金	566	30.3%
授業料、入学金及び検定料収入	119	6.4%
雑収入・財産処分収入	36	1.9%
附属病院収入	408	21.9%
寄附金収入	133	7.1%
受託・共同研究等収入	382	20.5%
補助金等収入	75	4.0%
科学研究費補助金等	148	7.9%
合計	1,867	100.0%

※施設等の大規模な整備事業にかかる施設整備費補助金及び長期借入金は含んでいません。



貸借対照表 (令和5年3月31日現在) (単位:億円)

	金額	構成比
資産の部		
土地	1,629	29.4%
建物等	1,603	28.9%
工具器具備品等	229	4.1%
図書	354	6.4%
建設仮勘定	41	0.7%
投資有価証券	248	4.5%
関係会社有価証券	124	2.2%
長期性預金	30	0.5%
現金及び預金	957	17.3%
金銭の信託	130	2.4%
有価証券	10	0.2%
未収入金	133	2.4%
その他	54	1.0%
資産合計	5,542	100.0%
負債の部		
長期繰延補助金等	68	1.2%
寄附金債務	875	15.8%
借入金	413	7.5%
未払金	212	3.8%
前受受託研究費等	130	2.4%
その他	118	2.1%
負債合計	1,816	32.8%
純資産の部		
資本金	2,682	48.4%
資本剰余金	42	0.7%
利益剰余金	293	5.3%
当期末処分利益	709	12.8%
純資産合計	3,726	67.2%
負債・純資産合計	5,542	100.0%

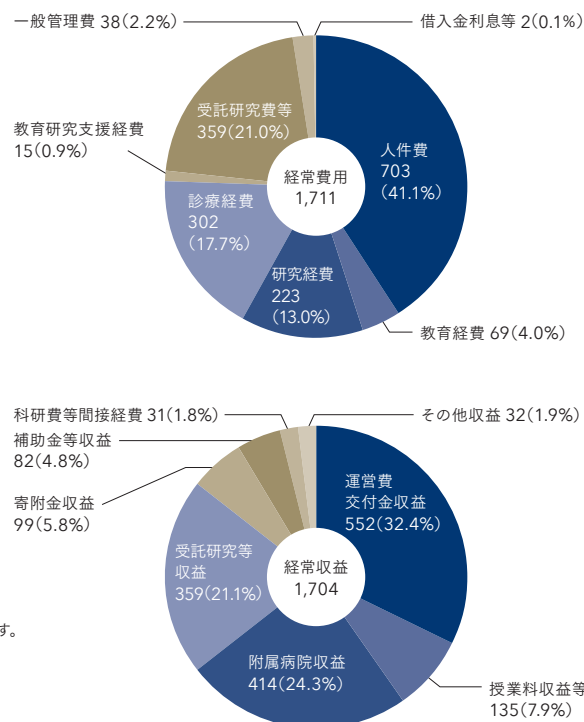


※「投資有価証券」、「関係会社有価証券」及び「有価証券」は投資有価証券等に含んでおります。
 ※「建設仮勘定」、「長期性預金」及び「金銭の信託」はその他に含んでおります。

損益計算書 (令和4年4月1日～令和5年3月31日) (単位:億円)

	金額	構成比
経常費用		
人件費	703	41.1%
教育経費	69	4.0%
研究経費	223	13.0%
診療経費	302	17.7%
教育研究支援経費	15	0.9%
受託研究費等	359	21.0%
一般管理費	38	2.2%
借入金利息等	2	0.1%
経常費用合計	1,711	100.0%
臨時損失	3	
合計	1,714	
経常収益		
運営費交付金収益	552	32.4%
授業料収益等	135	7.9%
附属病院収益	414	24.3%
受託研究等収益	359	21.1%
寄附金収益	99	5.8%
補助金等収益	82	4.8%
科研費等間接経費	31	1.8%
その他収益	32	1.9%
経常収益合計	1,704	100.0%
臨時利益	706	
目的積立金取崩額	13	
合計	2,423	
当期総利益	709	

※臨時利益及び当期総利益の金額には、国立大学法人会計基準等の改訂に伴う影響額705億円を含んでいます。



アクセス Access

キャンパス「アクセス」



吉田キャンパス

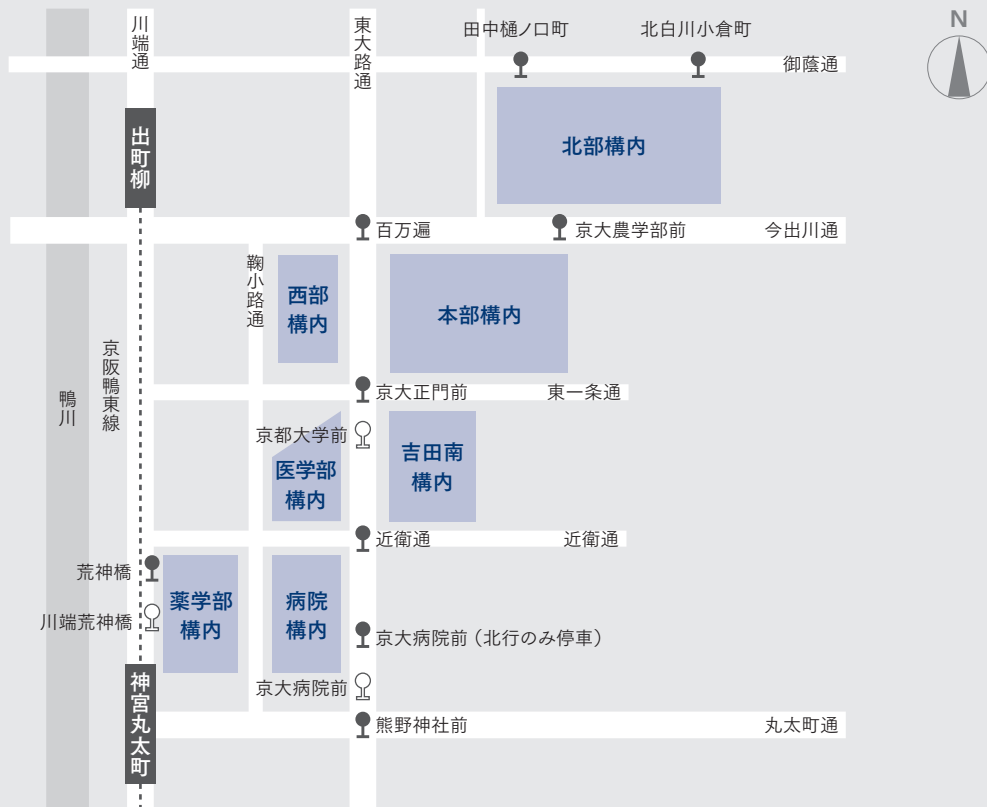


宇治キャンパス



桂キャンパス

吉田キャンパス



キャンパス「アクセス」

各キャンパスへの主な交通機関 (令和4年4月1日現在:最新情報は各社Webサイト等でご確認ください)

吉田キャンパス

主要鉄道駅	乗車バス停	市バス	市バス経路等	下車バス停
京都駅 (JR、近鉄)	京都駅前	206	「東山通 北大路バスターミナル」行	「京大正門前」または「百万遍」、医(医学科)・薬は「近衛通」、医(人間健康科学科)は「熊野神社前」
		17	「河原町通 銀閣寺・錦林車庫」行	「百万遍」、理・農は「京大農学部前」、薬は「荒神口」
京都河原町駅 (阪急)	四条河原町①	201	「祇園 百万遍」行	「京大正門前」または「百万遍」、医(医学科)・薬は「近衛通」、医(人間健康科学科)は「熊野神社前」
		31	「高野・国際会館駅・岩倉」行	
	四条河原町②	3	「出町柳駅 百万遍・北白川仕伏町(上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前)」行	「百万遍」、薬は「荒神口」
今出川駅 (地下鉄烏丸線)	烏丸今出川	201	「出町柳駅 百万遍・祇園」行	「京大正門前」または「百万遍」、医(医学科)・薬は「近衛通」、医(人間健康科学科)は「熊野神社前」
		203	「白川通 出町柳駅 銀閣寺・錦林車庫」行	「百万遍」、理・農は「京大農学部前」
東山駅 (地下鉄東西線)	東山三条	206	「高野・北大路バスターミナル」行	
		201	「百万遍・千本今出川」行	「京大正門前」または「百万遍」、医(医学科)・薬は「近衛通」、医(人間健康科学科)は「熊野神社前」
		31	「高野・国際会館駅・岩倉」行	
出町柳駅(京阪)	文・教・法・経済・工は、当駅下車東へ徒歩10分、総合人間・理・農は徒歩15分			
神宮丸太町駅(京阪)	医(医学科)・薬は、当駅下車北東へ徒歩10分、医(人間健康科学科)は、当駅下車東へ徒歩5分			

hoop (京都駅八条口から京大病院直通的循環路線バス) 「京都駅八条口」→「祇園・四条河原町」→「河原町御池」→「京大病院前」→「京都大学前」→「川端荒神橋」→「河原町御池」→「烏丸御池新風館前」→「四条烏丸」→「京都駅八条口」

宇治キャンパス

主要鉄道駅	駅からのアクセス
黄檗駅(JR、京阪)	当駅下車南西へ徒歩約10分

桂キャンパス

主要鉄道駅	乗車バス停	乗車バス	経路	下車バス停
桂駅(阪急)	桂駅西口	市バス西6	「京大桂キャンパス 西桂坂・桂坂中央」行	
		京阪バス20	「桂坂中央」行	「京大桂キャンパス前」(所要時間約12分)
		京阪バス20B	「西桂坂・桂坂中央」行	
桂川駅(JR)	桂川駅前	京阪バス22B	「西桂坂・桂坂中央」行(土・日のみ)	
		ヤサカバス6・6S	「桂坂中央」行	「京大桂キャンパス前」(所要時間約20分)

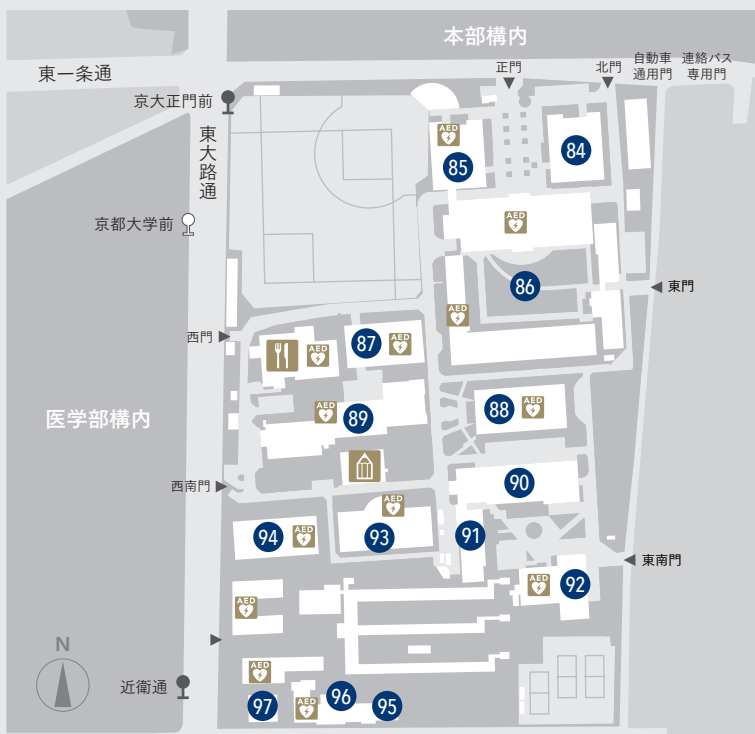
本部構内



- ① 正門/インフォメーション/広報センター
- ② カフェレストラン「カンフォーラ」
- ③ 百周年時計台記念館
大学文書館・歴史展示室
レストラン ラトゥール
カフェ「タリーズコーヒー」
- ④ 法経済学部本館
- ⑤ 法経済学部東館
- ⑥ 法経済学部北館
- ⑦ 文系学部校舎
- ⑧ 文学部校舎
- ⑪ 環境安全保健機構 産業厚生部門
(健康管理室)
- ⑬ 留学生ラウンジ「きずな」
- ⑭ 本部棟
- ⑮ 国際交流セミナーハウス
- ⑯ 教育推進・学生支援部棟
(旧石油化学教室本館)
学生総合支援機構
学生相談部門(学生相談センター)
吉田相談室/留学生相談室
障害学生支援部門(DRC)

キャンパス「吉田キャンパス」

吉田南構内



- ⑧④ 総合人間学部棟
- ⑧⑤ 吉田南1号館
- ⑧⑥ 吉田南総合館(北棟/東棟/南棟/西棟)
- ⑧⑦ 国際高等教育院
附属国際学術言語教育センター
- ⑧⑧ 吉田南総合図書館
- ⑧⑨ 人間・環境学研究科棟
- ⑨⑦ 吉田南2号館
- ⑨⑧ 吉田南3号館
- ⑨⑨ 吉田南4号館
- ⑩③ 学術情報メディアセンター(南館)
- ⑩④ 吉田国際交流会館
国際交流サービスオフィス
- ⑩⑤ 楽友会館(別館)
- ⑩⑥ 楽友会館
学生相談センター吉田南相談室
- ⑩⑦ 近衛館

教育推進・学生支援部学生課就職支援事務室
(キャリアサポートセンター)

- 17 経済研究所本館・書庫
- 18 附属図書館
- 19 経済研究所北館
- 20 尊攘堂
- 21 教育学部本館
- 22 総合博物館
研究資源アーカイブ映像ステーション
- 23 文学部陳列館
- 31 高等研究院 物質－細胞統合システム拠点研究棟
- 32 総合研究1号館・プロジェクトラボ
物質－細胞統合システム拠点
- 33 総合研究1号館別館
物質－細胞統合システム拠点
- 34 総合研究2号館
環境安全保健機構 環境管理部門
環境安全保健機構 安全管理部門
文学研究科附属文化遺産学・人文知連携センター
学際融合教育研究推進センター
- 35 総合研究3号館

- 36 総合研究2号館別館
- 37 総合研究14号館(旧土木工学教室本館)
- 38 人文科学研究所本館・総合研究4号館
- 39 総合研究15号館(旧建築学教室本館)
- 40 総合研究5号館
地球環境学堂・学舎
環境安全保健機構 低温物質管理部門
- 41 坂記念館
- 42 学術情報メディアセンター(北館)
- 52 総合研究11号館
- 53 工学部総合校舎
- 54 総合研究12号館
- 55 総合研究16号館
- 56 総合研究13号館
- 57 工学部物理系校舎
- 58 総合研究17号館
- 59 総合研究8号館
情報学研究科
エネルギー科学研究科
中央生協食堂
- 60 総合研究10号館

- 61 学術研究支援棟
学術研究展開センター
白眉センター
次世代研究創成ユニット
- 62 文学部東館
- 63 総合研究9号館
- 64 総合研究9号館 A棟
- 65 総合研究9号館 B棟
- 66 総合研究6号館
- 67 工学部電気総合館
- 68 総合研究7号館
- 69 国際科学イノベーション棟
産官学連携本部
オープンイノベーション機構
- 70 市川記念館

西部構内



- 75 総合体育館
- 76 吉田泉殿
- 77 高等研究院 本館
高等研究センター
物質－細胞統合システム拠点
ヒト生物学高等研究拠点
- 78 高等研究院 西館
高等研究センター
物質－細胞統合システム拠点
- 79 西部生協食堂

- インフォメーションセンター
 - 食堂・レストラン
 - 生協店舗
 - 京大ショップ
 - ミュージアムショップ
 - カフェ
 - バス停
 - バス停(hoop)
 - 自動体外式除細動器(AED)
- マップ内のAED表示マークは、その棟・館にあるAEDの設置場所の目安を示していますが、厳密なものではありません。

京都大学 散策マップ

本学を訪れる方へ、吉田キャンパスの見所や多彩な散策コースを提案している「散策マップ」もあります。

www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/downloademap#sansaku



医学部・病院・薬学部構内

- ① 正門
- ② がん免疫総合研究センター
Bristol Myers Squibb棟(工事中)
- ③ 医学図書館
- ④ 医学部I棟
- ⑤ 医学部A棟
- ⑥ 医学部B棟
ヒト生物学高等研究拠点(本部)
- ⑦ 基礎医学記念講堂・医学部資料館
- ⑧ 医学部E棟
- ⑨ 生命科学研究所附属放射線生物研究センター
- ⑩ 医学部C棟
- ⑪ 医学部本館管理棟
- ⑫ 医学部D棟
- ⑬ 医学部動物実験施設
- ⑭ 環境安全保健機構 放射線管理部門
(放射性同位元素総合センター)
- ⑮ 医学部F棟
- ⑯ 先端科学研究棟
- ⑰ 医学部総合解剖センター
- ⑱ 医学部G棟
医学・生命科学総合研究棟(生命科学研究所)
- ⑳ 学生会館
- ㉑ 芝蘭会館
- ㉒ 橘会館
- ㉓ 第一研修施設「廣志房」(思修館)
- ㉔ 第二研修施設「船哲房」(思修館)
男女共同参画推進センター
- ㉕ 大学文書館
- ㉖ 東一条館(総合生存学館(思修館))
- ㉗ 南部総合研究1号館・医学生研1号館
研究連携基盤
- ㉘ 医学生研5号館
- ㉙ 医学生研2号館
- ㉚ 医学生研北実験棟
- ㉛ 分子生物実験研究棟
- ㉜ 医学生研4号館
- ㉝ 医学生研3号館
- ㉞ 医学部人間健康科学科
- ㉟ 杉浦地域医療研究センター
- ㊱ 先制医療・生活習慣病研究センター
(ハイメディック棟)
- ㊲ メディカルイノベーションセンター棟
- ㊳ iPS細胞研究所

- ㊴ iPS細胞研究所 第2研究棟
- ㊵ iPS細胞研究所 第3研究棟
- ㊶ サービスサプライ棟
- ㊷ 東南アジア地域研究研究所(東棟)
- ㊸ アジア・アフリカ地域研究研究科・東南アジア
地域研究研究所共同棟
- ㊹ 東南アジア地域研究研究所図書室
- ㊺ 稲盛財団記念館
アジア・アフリカ地域研究研究科
東南アジア地域研究研究所
人と社会の未来研究院
アフリカ地域研究資料センター
- ㊻ 薬学研究科本館
- ㊼ 薬学研究科総合研究棟
- ㊽ 医薬系総合研究棟
- ㊾ 外来診療棟
- ㊿ 中央診療棟
第二臨床研究棟
- 1 南病棟
- 2 積貞棟
- 3 中病棟、次世代医療・iPS細胞
治療研究センター(KI-CONNECT)
- 4 北病棟
- 5 第一臨床研究棟
- 6 臨床講堂
- 7 先端医療研究開発機構(iACT)棟
- 8 先端医療機器開発・臨床研究センター
- 9 第三臨床研究棟

P 駐車場

🍴 食堂

☕ カフェ

🚧 建設工事中

🏪 生協店舗

🚏 バス停

🚏 バス停(hoop)

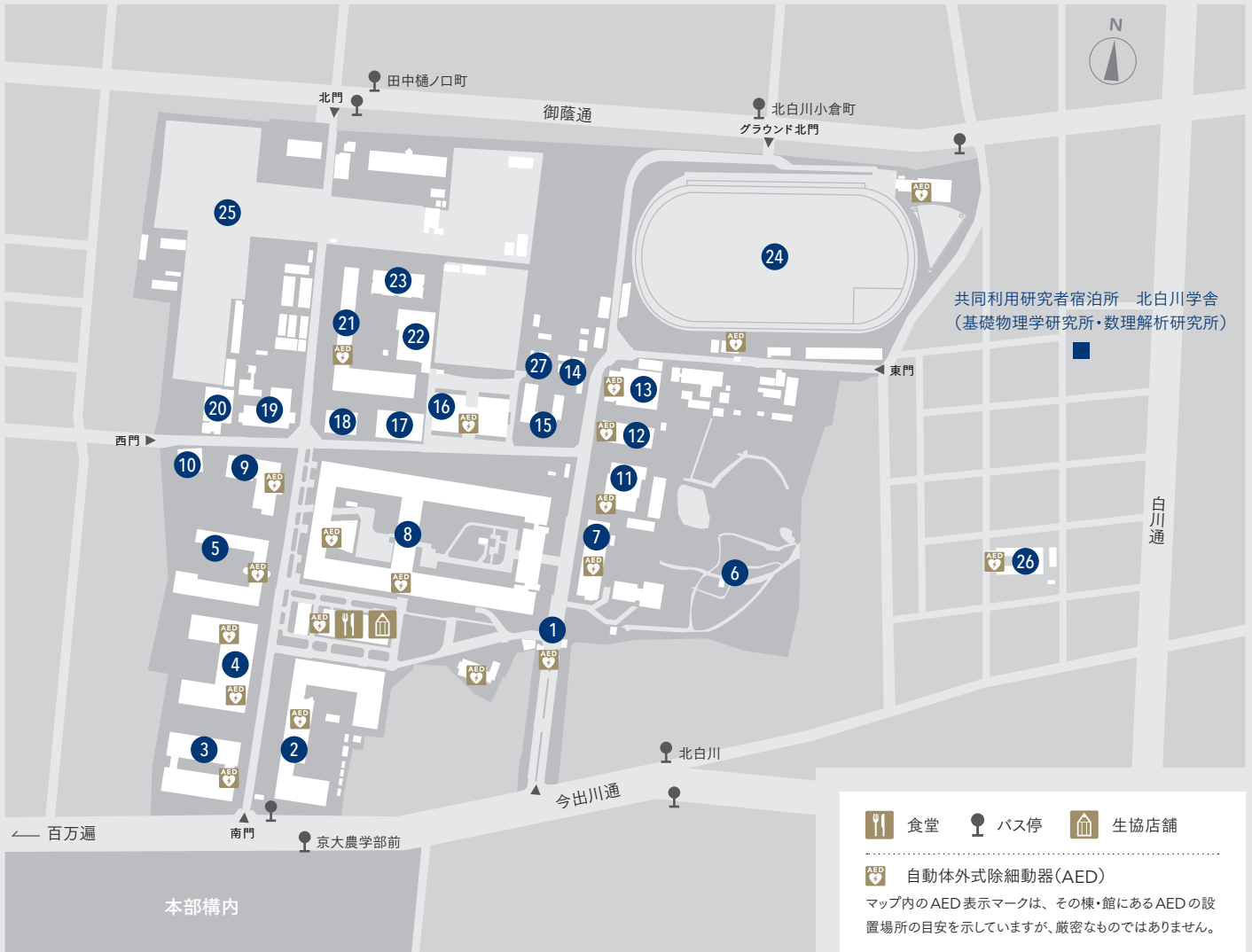
AED 自動体外式除細動器(AED)

マップ内のAED表示マークは、その棟・館にあるAEDの設置場所の目安を示していますが、厳密なものではありません。



キャンパス「吉田キャンパス」

北部構内



キャンパス「吉田キャンパス」

- ① 農学部正門
- ② 理学研究科1号館
- ③ 理学研究科2号館
- ④ 理学研究科6号館
- ⑤ 理学研究科3号館
- ⑥ 理学部植物園
- ⑦ 数理解析研究所
- ⑧ 農学部総合館
フィールド科学教育研究センター
- ⑨ 理学研究科4号館
- ⑩ 理学研究科セミナーハウス
- ⑪ 基礎物理学研究所(湯川記念館)
- ⑫ 基礎物理学研究所(研究棟)
- ⑬ 北部総合教育研究棟
- ⑭ フィールド科学教育研究センター
連携研究推進棟
- ⑮ 旧演習林事務室
学生相談センター北部相談室
- ⑯ 農学・生命科学研究棟
- ⑰ 先端エネルギー科学実験棟
- ⑱ 農学研究科2号館
- ⑲ 環境安全保健機構 放射線管理部門
(放射性同位元素総合センター 分館)
- ⑳ 環境安全保健機構 低温物質管理部門
- ㉑ 理学研究科5号館
- ㉒ 理学研究科5号館東棟
- ㉓ 理学研究科5号館北棟
- ㉔ グラウンド
- ㉕ 附属農場
- ㉖ 東アジア人文情報学研究センター
(人文科学研究所)
- ㉗ 北白川試験地

近隣施設





キャンパス「宇治キャンパス」

- | | | |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 守衛所 ② 新食品素材製造実験室(農学研究科) ③ 材鑑調査室(生存研) ④ 木質材料実験棟(木質ホール)(生存研) ⑤ 居住圏劣化生物飼育棟(生存研)
木工試験工場
製紙試験室 ⑥ 国際交流会館宇治分館 ⑦ 南1号棟(エネ研) ⑧ 南1号棟別棟工作室(エネ研) ⑨ 南2号棟(エネ研) ⑩ 南3号棟(エネ研) ⑪ 遠心力载荷実験室(防災研) ⑫ 工作室(防災研) ⑬ 未災学研究推進棟
(斜面未災学研究センター)(防災研) ⑭ 人為地震発生装置室(防災研) ⑮ エコ住宅実験棟 律周舎(生存研) ⑯ ナノセルロース コア・ナノハウス(生存研) ⑰ ナノファクトリー・ナノファクトリーII(生存研) ⑱ 宇治おうばくプラザ
きはだホール、ハイブリッドスペース、
カフェレストランきはだ、セブン-イレブン ⑲ 宇治地区研究所本館(化研、エネ研、
生存研、防災研、農学研究科)
環境安全保健機構 産業厚生部門
健康管理室宇治分室 | <ul style="list-style-type: none"> 附属図書館宇治分館 ⑳ 繊維板試験実験棟(生存研) ㉑ 総合研究実験1号棟(化研、エネ研、生存研、
防災研)
バイオインフォマティクスセンター(化研)
量子理工学教育研究センター(工学研究科) ㉒ 共同研究棟(化研) ㉓ 放射実験室
原子核工学専攻(工学研究科)
量子理工学教育研究センター(工学研究科)
エネルギー科学研究科 ㉔ 超高分解能分光型電子顕微鏡棟(化研) ㉕ 極低温超高分解能電子顕微鏡室(化研) ㉖ 製紙試験実験棟(生存研) ㉗ 持続可能生存圏開拓診断(DASH)システム
(DASH植物育成サブシステム)(生存研、
生態学研究センター) ㉘ 碧水舎(化研) ㉙ 生物工学ラボラトリー(化研) ㉚ 北1号棟(エネ研) ㉛ 極低温物性化学実験室(化研)
環境安全保健機構 低温物質管理部門 ㉜ 情報研究棟(化研) ㉝ 核酸情報解析棟(化研) ㉞ 総合研究実験2号棟(旧工業教員養成所本館)
(化研、エネ研、生存研、防災研) ㉟ 北2号棟(エネ研) | <ul style="list-style-type: none"> ㊱ 超空気力学実験室(工学研究科) ㊲ 宇治地区先端イノベーション拠点施設 ㊳ 風洞実験室(工学研究科) ㊴ 北3号棟(エネ研) ㊵ 北4号棟(エネ研、エネルギー科学研究科) ㊶ 学生相談センター宇治相談室・保健室
(宇治キャンパス就職資料スペース)
生協食堂 ㊷ 防災研究所連携研究棟(防災研) ㊸ 鋼構造実大試験架橋(防災研) ㊹ 強震動観測実験場(防災研) ㊺ 強震応答・耐震構造実験室(防災研) ㊻ 地震災害研究センター(防災研) ㊼ 境界層風洞実験室(防災研) ㊽ 高度マイクロ波エネルギー伝送実験棟(生存研) ㊾ イオン線形加速器棟(化研)
レーザー科学棟(化研) ㊿ 宇宙太陽発電所研究棟(生存研) ㊽㉿ マイクロ波エネルギー伝送実験棟(生存研) ㊽㊿ 観測機器室(生存研) |
|--|--|--|

化研	化学研究所
エネ研	エネルギー理工学研究所
生存研	生存圏研究所
防災研	防災研究所

A クラスター

工学研究科ゾーン 電気系・化学系専攻

- ① A1 棟
電気工学専攻
電子工学専攻
光・電子理工学教育研究センター
- ② A2 棟
物質エネルギー化学専攻
- ③ A3 棟
材料化学専攻
高分子化学専攻

④ A4 棟

分子工学専攻
合成・生物化学専攻
化学工学専攻

- ⑤ A クラスター事務棟
- ⑥ カフェテリア予定地
- ⑦ ベーカリーカフェ「ブルーランジェリー セリ」
- ⑧ EMセンター棟
- ⑨ イノベーションプラザ棟
- ⑩ テニスコート
- ⑪ ローム記念館

B クラスター

共通施設ゾーン

- ⑫ 船井交流センター
学生相談センター桂相談室
(桂キャンパス就職資料スペース)
- ⑬ 船井哲良記念講堂
- ⑭ 事務管理棟
- ⑮ 桂インテックセンター棟
環境安全保健機構 低温物質管理部門
- ⑯ 福利・保健管理棟
環境安全保健機構 産業厚生部門
健康管理室桂分室
カフェテリア「セレネ」
- ⑰ 桂図書館

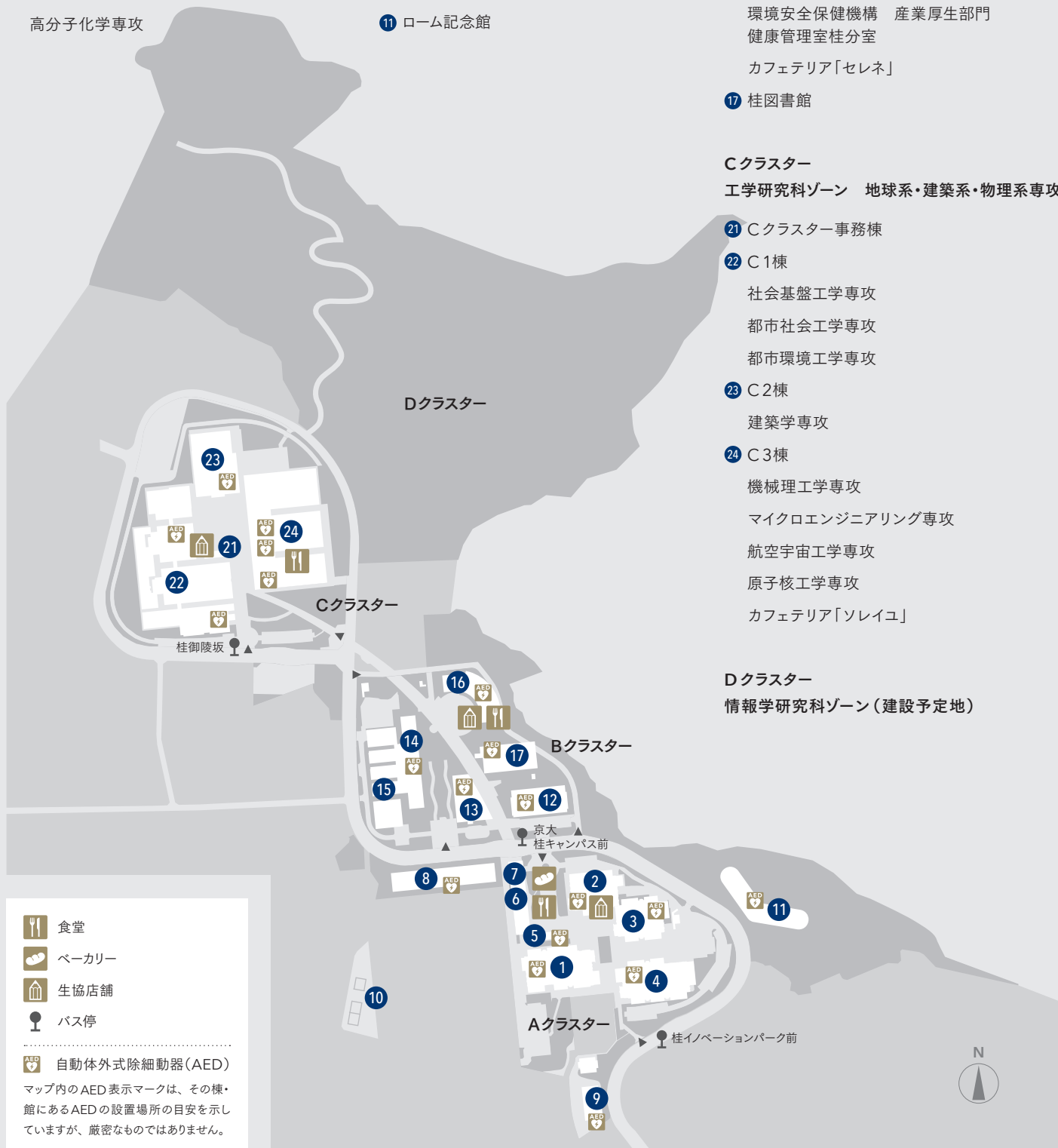
C クラスター

工学研究科ゾーン 地球系・建築系・物理系専攻

- ⑲ C クラスター事務棟
- ⑳ C1 棟
社会基盤工学専攻
都市社会工学専攻
都市環境工学専攻
- ㉑ C2 棟
建築学専攻
- ㉒ C3 棟
機械理工学専攻
マイクロエンジニアリング専攻
航空宇宙工学専攻
原子核工学専攻
カフェテリア「ソレイユ」

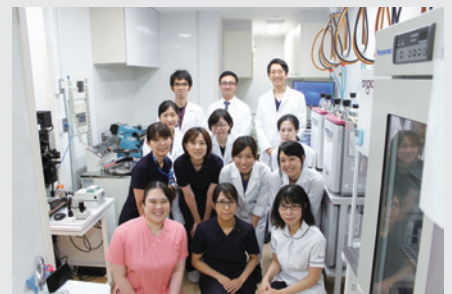
D クラスター

情報学研究科ゾーン (建設予定地)



京都大学医学部附属病院(京大病院) www.kuhp.kyoto-u.ac.jp

京都大学医学部附属病院では、高度急性期医療や高度先進医療により対応するべく、施設整備や組織の設置を急ピッチで進めています。小児診療並びに集中治療に関する専門グループが重症小児患者を診療、支援する「小児集中治療センター」、アレルギー診療に係る診療科が連携する「アレルギーセンター」、効率的な入退院のマネジメントを行う「PFMセンター」など、診療科横断的な組織を新たに設置しました。また、患者アメニティの向上を図るため、患者ラウンジの整備を行いました。



京都大学総合博物館 www.museum.kyoto-u.ac.jp

京都大学開学以来収集してきた貴重な学術標本約260万点を収蔵しています。その内容は、国宝・重要文化財やそれに準ずる文化財、あるいは国際的に貴重なタイプ標本など、文化史・自然史・技術史の各分野にわたる重要な資料です。また、常設展・企画展・特別展・「子ども博物館」等のイベントと、多彩な内容で来館者をお迎えしています。



附属図書館

www.kulib.kyoto-u.ac.jp/mainlib/

約100万冊の図書をはじめ、多くの学術雑誌やデータベースで京都大学の学習・研究活動を支えています。研究成果や貴重資料の電子化にも力を入れており、Webサイトで論文や貴重資料デジタルアーカイブのコレクション等を公開しています。また、京都大学には附属図書館のほかに約40の図書館・室があり、それぞれが分野に合わせた図書や雑誌を収集・整理し、快適な学習環境の整備に努めています。

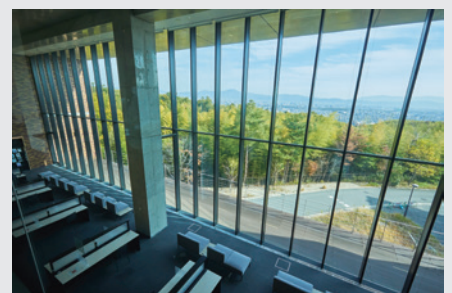


キャンパス「附属病院・総合博物館・図書館」

桂図書館

www.t.kyoto-u.ac.jp/lib/ja

桂キャンパスBクラスターに2020年4月に開館した桂図書館は、桂キャンパス所属者のほとんどが大学院生や研究者であることから、研究支援サービスを提供しています。学生の知的活動を促すとともに学外研究者との協働を促進することを目的としたオープンラボ、リサーチcommonsや、メディアクリエーションルームという「場」を提供し、また、ライティング支援、オープンアクセス支援、アーカイブ支援など、研究を進め、発表し、蓄積するという研究活動サイクルの各場面で必要とされる支援サービスを推進しています。



令和5(2023)年度

www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/curriculum/calendar

前期

● 始まり	4月1日(土)
● 入学式	4月7日(金)
● 授業期間	4月10日(月)～7月21日(金)
● 創立記念日	6月18日(日)
● 試験・フィードバック期間	7月24日(月)～8月4日(金)
● 夏季休業	8月5日(土)～9月30日(土)
● 秋季大学院学位授与式	9月25日(月)
● 終わり	9月30日(土)

後期

● 始まり	10月1日(日)
● 秋季入学式	10月7日(土)
● 授業期間	10月2日(月)～1月23日(火)
● 11月祭による授業休止	11月22日(水)、11月24日(金)
● 冬季休業	12月29日(金)～1月3日(水)
● 試験・フィードバック期間	1月24日(水)～2月6日(火)
● 大学院学位授与式	3月25日(月)
● 卒業式	3月26日(火)
● 終わり	3月31日(日)



令和5年度入学式



授業風景 (ILASセミナー)



ピラ紅萌祭



令和4年度卒業式



留学生ラウンジきずな「新入交換留学生ウェルカムウィーク」

刊行物

www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/public/issue

刊行物は、PDFやデジタルパンフレットにより閲覧が可能です。資料請求していただくことが可能なものは入手方法のリンクを置いています。これらのほかにも各種刊行物があり、また、各部局・部署等でもそれぞれの刊行物を発行しています。



大学案内



京都大学概要 2023 データ編(Web掲載のみ)

- 目次：歴代総長・創立以来の比較
 沿革
 役員・役職者等
 職員数
 学生数等
 入学状況
 卒業生・修了者数等
 進路・就職状況
 国際交流
 外部資金
 発明・特許・知的財産
 土地面積
 建物面積等
 蔵書数
 患者数
 総合博物館・水族館 入館者数
 所在地一覧

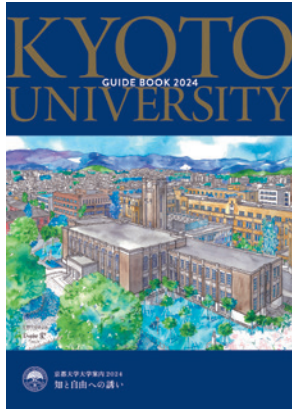
広報誌



紅萌 (くれなゐもゆる)

「紅萌」特設サイト
www.kyoto-u.ac.jp/kurenai/

入試関連



知と自由への誘い
(受験生向け大学案内)

各種報告書



アニュアルレポート



環境報告書

Webサイト

京都大学の公式サイトでは、学部・大学院、研究所等の案内や、入試・入学案内、教育研究活動、キャンパスの最新情報など、各種情報をご覧いただけます。このほかにも、各部局等でもそれぞれのWebサイト、SNS等で情報発信をしています。

京都大学公式サイト
www.kyoto-u.ac.jp



スペシャルサイト ザッツ・京大
www.thats.pr.kyoto-u.ac.jp



京都大学Twitter
twitter.com/univkyoto



京都大学Instagram
www.instagram.com/kyotouniversity.jp/



京都大学Facebook
www.facebook.com/Kyoto.Univ



**KYOTO
UNIVERSITY
OVERVIEW
2023**

発行：京都大学渉外部広報課（2023年7月発行）

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

TEL 075-753-7531（代表）

kohho52@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

www.kyoto-u.ac.jp

京都大学概要はWEBサイトにてPDFでもご覧いただけます。
www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/public/issue/ku-profile

